

令和 5 年 度

主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部

目 次

1	誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現	5
(1)	多文化共生の実現	5
①	日本人と外国人が共生する地域づくり	5
4	地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興	7
(1)	鹿児島県の発展を牽引する人材の育成	7
①	交流会議等を核とした国際交流の充実	7
(2)	文化の薫り高いふるさとかごしまの形成	15
①	文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実	15
②	地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用	20
③	文化芸術に係る人材の育成	23
④	文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信	24
(3)	「する・みる・ささえる」スポーツの振興	25
①	スポーツを通じた交流人口の拡大，地域活性化	25
②	良質なスポーツ環境の提供	27
11	観光の「稼ぐ力」の向上	28
(1)	国内外における戦略的なPRの展開	28
①	多彩な魅力を活用したPRの展開	28
②	Web等を活用したプロモーションの展開	29
(2)	魅力ある癒やしの観光地の形成	31
①	観光関係施設等の整備	31
(3)	戦略的な誘客の展開	33
①	観光客の来訪の促進等	33
②	外国人観光客の来訪の促進等	46
③	スポーツキャンプ等の誘致	54
(4)	オール鹿児島でのおもてなしの推進	57
①	全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備	57
16	新型コロナウイルス感染症に係る対策	59
(1)	感染症拡大防止対策と医療体制整備	59
(2)	経済活動の回復	60
17	原油価格・物価高騰等総合緊急対策	62
(1)	原油価格高騰対策	62
(2)	コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	63

1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現

(1) 多文化共生の実現

① 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	44,894	—	32,000	12,894	44,846	—	32,000	12,846
内 訳	国際交流プラザ設置事業	—	10,000	8,595	18,590	—	10,000	8,590
	かごしま留学生支援事業	2,445	—	2,000	445	2,402	—	2,000
	鹿児島県国際交流センター管理運営事業	—	20,000	3,854	23,854	—	20,000	3,854
計	44,894	—	32,000	12,894	44,846	—	32,000	12,846

(1) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

諸外国の生活・文化等の情報提供、県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

<利用実績>

年度	R3	R4	R5
国際交流プラザ利用者	8,307人	11,509人	12,330人
相談件数	32件	57件	19件

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県民向けの各種情報の提供・発信や相談受付のほか、外国語講座や文化講座等の実施を通じて、県民の国際理解が深まった。

また、在留外国人との交流が促進されることで、多文化共生社会の実現の促進が図られた。

(2) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため、県内大学等に在籍する留学生に対し、奨学金を交付する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県内在住の私費外国人留学生10人に、月額20千円の奨学金を交付した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

留学生による県内の国際交流イベントへの参加等が促進されるとともに、将来の人的ネットワーク構築に寄与した。

(3) 鹿児島県国際交流センター管理運営事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

留学生等に宿泊施設を提供するとともに、留学生等の相互交流や留学生等と県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図るために設置した、鹿児島県国際交流センターの管理運営を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和2年4月1日より供用が開始された「かごしま国際交流センター」において、留学生等へ宿泊施設を提供し、留学生等の相互交流や県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材育成、国際相互理解促進を図った。

ア 事業内容

センターの管理運営の委託（指定管理）

- ・施設の維持管理に関する業務
- ・施設を利用した事業の企画及び実施に関する業務
- ・施設の利用者の募集及び利用の許可に関する業務
- ・施設の利用に係る料金に関する業務 等

イ 令和5年度管理業務の実施状況

(ア) 利用実績

年 度	R3	R4	R5
入 居 者 数	37人（うち外国人 29人）	85人（うち外国人 73人）	88人（うち外国人 80人）

(イ) 指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

ウ 関係機関との連絡調整

令和5年度かごしま国際交流センター管理運営連絡会議代表者会

(ア) 実施日 令和5年8月17日

(イ) 内 容 今年度の事業計画、現在の指定管理者間の連携状況、今後の連携や実務者間で協議していく事項について

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年4月の供用開始以降、居室数に対して入居者数が少ない状況となっていたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行され、徐々にその影響が薄れたことで、入居者数は増加傾向となった。関係団体と連携して交流事業や研修事業を実施し、人材育成及び国際相互理解の促進が図られた。

4 地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興

(1) 鹿児島県の発展を牽引する人材の育成

① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	183,232	—	107,186	76,046	175,160	—	107,186	67,974
内								
国際交流企画管理事業	23,388	—	23,000	388	23,276	—	23,000	276
在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,060	—	—	1,060
渉外事務事業	826	—	—	826	588	—	—	588
アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	47,206	—	44,000	3,206	47,206	—	44,000	3,206
外国青年招致事業	18,212	—	—	18,212	16,892	—	—	16,892
海外技術協力等推進事業	13,863	—	—	13,863	12,816	—	—	12,816
アジア地域との交流	9,680	—	—	9,680	7,412	—	—	7,412
アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	934	—	—	934
渡航事務事業	41,520	—	40,186	1,334	40,720	—	40,186	534
海外情報ネットワーク形成事業	82	—	—	82	69	—	—	69
清華大学との交流促進事業	654	—	—	654	374	—	—	374
英国自治体との交流促進事業	3,045	—	—	3,045	2,959	—	—	2,959
米国ジョージア州との交流	877	—	—	877	24	—	—	24
訳								
第21回鹿児島・シンガポール交流会議	4,829	—	—	4,829	4,324	—	—	4,324
ブラジル県人会創立110周年記念式典等参加事業	16,968	—	—	16,968	16,506	—	—	16,506
計	183,232	—	107,186	76,046	175,160	—	107,186	67,974

(1) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された(一財)自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との情報共有を行った。

(ア) 地域国際化連絡会議（総務省）

a 日 程 令和5年6月7日

b 場 所 沖縄県市町村自治会館

c 会議概要 九州各県が国際交流に係る主要事業、取組状況等を報告し、質疑応答を行った。

(イ) 多文化共生地域会議（総務省）

a 日 程 令和5年6月7日

b 場 所 沖縄県市町村自治会館

c 会議概要

(a) 地域国際化施策，多文化共生施策の説明（総務省・出入国在留管理庁・（一社）自治体国際化協会）

(b) 基調講演 演題 「みんなが共に暮らしやすいまちづくりを目指して」

講師 多文化ネットワーク fu ふ！沖縄 代表 大仲 るみ子 氏

(c) 事例紹介 ①事例 「在留外国人のための防災対策支援事業」

講師 （公財）鹿児島県国際交流協会 事務局長 吉村 博幸 氏

②事例 「多文化共生の取り組み事例～「学校のお知らせ」作成ハンドブック～」

講師 （一財）熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

③事例 「JICA, JICA沖縄と多文化共生事業

『日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指して』

講師 JICA沖縄 市民参加協力課長 木田 克人 氏

イ （一財）自治体国際化協会負担金

海外における地方公共団体の国際交流推進拠点の整備及び地域レベルの国際化推進等に係る負担金として、同協会に対し、23,000千円を支払った。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

各都道府県、九州各県、県内市町村及び県内国際交流団体との相互連携を深め、国際交流施策の円滑な推進が図られた。

(2) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県海外移住家族会や在外県人会等と協力して本県出身移住者の援助促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

海外移住者の安定化を図るため、（公財）鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

ア 在外県人会等育成費補助金

・（公財）鹿児島県国際交流協会に対し、補助金を交付（960千円）

・同協会が4在外県人会と業務委託契約し、移住者の援護指導、消息不明者の調査、子弟の育成・指導等を実施
（ブラジル560千円、アルゼンチン184千円、ペルー104千円、パラグアイ80千円、事務費32千円）

イ 鹿児島県海外移住家族会協力活動費補助金

・鹿児島県海外移住家族会に対し、補助金を交付（100千円）

（在外県人会に係る情報提供、親善交流、移住者援護等）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

在外県人会による現地での活動が促進され、海外における本県の認知度向上が図られた。

(3) 渉外事務事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

関係国との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 外国大使・総領事，使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳，公文書等の翻訳を行った。

年 度	R3	R4	R5
接 遇 及 び 通 訳	12件	20件	17件
公文書等の翻訳	79件	71件	94件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や，青年海外協力隊活動の支援を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

関係国との相互理解及び友好関係を促進し，国際協力に寄与した。また，翻訳により，県の海外交流の促進，多言語でのPR等に寄与した。

(4) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入れや，これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進，生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア・太平洋農村研修センターの維持管理及び国際交流・理解に係る研修等を実施した。

ア 利用実績

年 度	R3	R4	R5
利 用 者 数	5,566人(うち外国人 79人)	7,136人(うち外国人 440人)	11,349人(うち外国人1,983人)
研 修 団 体 数	81団体	109団体	144団体

イ 指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

県民や在留外国人による研修利用がなされたことにより，交流を通じた国際理解の促進が図られた。

(5) 外国青年招致事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため，語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

「語学指導等を行う外国青年招致事業（昭和62年度～）」により，県及び市町村に国際交流員16人，外国語指導助手116人の外国青年を配置した。

ア 国際交流員

(ア) 人 数 16人

(イ) 出身国 アメリカ，イギリス，シンガポール，中国，韓国，マレーシア

(ウ) 配属先 県3人，鹿児島市3人，鹿屋市1人，薩摩川内市1人，日置市2人，霧島市3人，南さつま市1人，奄美市1人，徳之島町1人

イ 外国語指導助手

(ア) 人 数 116人

(イ) 出身国 アメリカ，イギリス，カナダ，オーストラリア，ニュージーランド，アイルランド，南アフリカ，ジャマイカ，トリニダード・トバゴ，フィリピン

(ウ) 配属先 県教育委員会36人，市町村教育委員会80人（27市町村）

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

県及び市町村に配置された国際交流員及び外国語指導助手を活用することにより，国際交流の推進や外国語教育の質の向上が図られた。

(6) 海外技術協力等推進事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

開発途上国から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県出身移住者の子弟を県内の大学に留学させ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

海外技術研修員及び県費留学生において、予定どおり各3人を受け入れた。

ア 海外技術研修員

(ア) 国籍及び人数 ブラジル1人、パラグアイ1人、中国（江蘇省）1人 計3人

(イ) 研修種目 国際貿易、エクステリアデザイン、消化器内視鏡

イ 県費留学生

(ア) 国籍及び人数 ブラジル2人、ペルー1人 計3人

(イ) 留学先 鹿児島大学法文学部、鹿児島大学医学部

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

海外技術研修員及び県費留学生が県内で研修及び留学を行うことにより、県民との交流が生じ、多文化共生の推進に寄与したことに加え、帰国後の県人会活動への積極的な参加等により、次世代への交流の継承が行われた。

(7) アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全北特別自治道、中国江蘇省、台湾屏東県との更なる交流の促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 第26回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、観光・経済分野における交流の一層の充実・拡大など、今後の交流の在り方等について、書面により協議会を開催した。

イ 第8回鹿児島県・全羅北道交流協議会

鹿児島県と全羅北道（現：全北特別自治道）との交流事業について協議を行い、今後の交流プログラムを決めるとともに、両県道の交流に関する幅広い意見交換等を行った。

(ア) 日程 令和5年10月25日

(イ) 場所 全羅北道（現：全北特別自治道）

(ウ) 訪問者 鹿児島県観光・文化スポーツ部次長ほか

ウ 台湾屏東県との交流

台湾屏東県との交流促進のため、知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れ等を行った。

(ア) 知事の相互訪問

a 屏東県知事の訪問

(a) 日程 令和5年9月14日

(b) 内容 知事表敬、夕食懇談会、県内視察

(c) 訪問者 周春米 屏東県知事、陳銘俊 台北駐福岡経済文化弁事処長 ほか

b MOU締結

本県と台湾屏東県との各般にわたる交流を促進するため、屏東県を訪問し、MOUを締結した。

(a) 日程 令和6年1月20日～22日

(b) 内容 屏東県内視察、夕食懇談会、知事との意見交換、MOU締結式など

(c) 締結内容 青少年、芸術・文化、観光、経済などの分野の交流促進・協力

(イ) PRイベント等の実施

a 屏東・日本友好感謝祭

(a) 日 程 令和5年7月7日～9日

(b) 場 所 屏東市・勝利星村

(c) 内 容 開会式典において知事メッセージ動画を上映，県PRブースでの観光・特産品等のPR及び特設ステージでのPR

b 屏東熱帯農業博覧会

(a) 日 程 令和6年2月3日～3月3日

(b) 場 所 屏東農作物産館及びその周辺

(c) 内 容 ブース出展において本県の観光及び県産品の紹介，開幕式（2/3～4）での島唄披露，閉幕式（3/2～3）での県内高校生と屏東県高校生によるおはら節披露

c 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

(a) 日 程 令和5年10月17日，28日，30日

(b) 場 所 鴨池公園（ぐりぶー広場）

(c) 内 容 鹿児島県の国際交流ブースを出展し，観光特産品等をPR

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

中国江蘇省及び韓国全北特別自治道との交流については，長年にわたり続けてきた友好交流の継続及び今後の更なる交流の促進が確認された。

台湾屏東県との交流については，令和6年1月，新たにMOUを締結したため，今後はMOUに基づき，青少年，芸術・文化，観光，経済などの分野で交流を促進していく予定である。

(8) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため，これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港，シンガポール，韓国全羅北道（現全北特別自治道）のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

<クラブの状況>（各年5月1日現在）

（単位：人）

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	R3	R4	R5
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	130	130	130
全羅北道かごしまクラブ	42	218	218	218

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

各地のかごしまクラブの活動により，人的交流などが円滑に促進された。

(9) 渡航事務事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

旅券法の規定により，国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理，作成，交付等の事務を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅券の発給申請の受理，作成，交付等の事務を処理した。

年度	申請件数	対前年比	交付件数	対前年比
R3	2,695件	102.5%	2,577件	84.2%
R4	8,905件	330.4%	8,271件	321.0%
R5	21,678件	243.4%	21,580件	260.9%

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

＜権限移譲市町村＞

開始時期	移譲先市町村	市町村数
平成19年4月1日	与論町	1
平成20年4月1日	出水市, 阿久根市, 霧島市	3
平成22年4月1日	鹿屋市, 西之表市, 伊佐市, 錦江町, 南大隅町, 中種子町, 南種子町, 大和村, 徳之島町	9
平成23年4月1日	指宿市, 垂水市, 南九州市, さつま町, 長島町, 湧水町, 宇検村, 伊仙町	8
平成24年4月1日	志布志市, 大崎町, 肝付町, 天城町, 和泊町, 知名町	6
平成25年4月1日	枕崎市, 曾於市, 東串良町, 瀬戸内町, 喜界町	5
平成26年4月1日	日置市, 南さつま市, 奄美市, 屋久島町, 龍郷町	5
平成27年4月1日	いちき串木野市	1
平成29年4月1日	始良市	1
計		39

ウ 旅券申請のデジタル化に伴い、令和5年3月27日から県及び一部の市町旅券窓口で切替申請に係るオンライン申請の受付を開始し、令和6年2月5日からはオンライン申請に係る旅券手数料のクレジットカードによるオンライン納付の取扱いを開始した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

適切な事務を行うことによって、円滑かつ正確な旅券の発給を行うことができた。

(10) 海外情報ネットワーク形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光をはじめとする本県産業の振興に資する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

本県と海外との永年の交流の中で培ってきた人的ネットワーク等を活用し、海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・中国語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行った。

＜メールマガジン登録者数（各年度3月末時点）＞

（単位：人）

年度	英語	中国語	韓国語	日本語	計
R3	701	253	133	600	1,687
R4	702	258	134	600	1,694
R5	707	267	136	619	1,729

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

本県の観光や特産品等に関する情報を発信することにより、本県のイメージや知名度の向上、産業振興の促進が図られた。

(11) 清華大学との交流促進事業（国際交流課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

平成25年8月に締結した清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

清華大学との包括協定（MOU）の2期目の終了に伴い、3期目の更新を行った。

ア 日 程 令和5年12月20日

イ 場 所 城山ホテル鹿児島

ウ MOUの内容 経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

平成25年以降続けてきたMOUの継続及び今後の更なる交流の促進が確認された。

(12) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

友好協定を締結している英国自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 英国自治体との交流

友好協定を締結している英国自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、交流の促進を図ることとしていたが、令和5年度は来日がなかった。

イ 薩摩スチューデントの派遣

本県高校生2人（引率教員1人）が英国教育体験プログラムに参加した。

(ア) 日 程 令和5年7月19日～8月1日

(イ) 内 容 UCL (University College London) 講師陣による講義・ワークショップ、研究者との意見交換、UCL Grand Challenge Workshop等

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県高校生が英国教育体験プログラムに参加し、グローバルな人材の育成及び交流の促進が図られた。

(13) 米国ジョージア州との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

昭和41年、本県と姉妹盟約を結んだ米国ジョージア州との間で、さらなる交流促進に向けた取組を行い、両県州の親善関係を強化していく。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

姉妹盟約を締結している米国ジョージア州知事等の受入れや、大学生を対象にした相互理解講座の実施により、親善関係の強化を図ることとしていたが、州知事及び留学生の来日がなかった。

(14) 第21回鹿児島・シンガポール交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げているシンガポールとの各般にわたる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっているシンガポールとの各般にわたる交流を促進するため、第21回鹿児島・シンガポール交流会議を鹿児島で開催した。

ア 日 程 令和5年11月21日～23日

イ 場 所 城山ホテル鹿児島ほか

ウ 内 容 ラウンド・テーブル・ミーティング

知事主催レセプション

関連事業（経済セミナー・観光セミナー、食フェア、パネル展、現地視察等）

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

経済交流，観光PR，青少年交流，芸術文化交流など，今後の具体的な交流プログラム8項目について合意がなされた。

(15) ブラジル県人会創立110周年記念式典等参加事業 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

ブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典等に参加し，関係者の永年の御労苦をねぎらい，友好親善を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典に参加したほか，県費留学生・海外技術研修員OBとの意見交換等を行った。

ア 日 程 令和5年8月4日～6日

イ 場 所 ブラジル連邦共和国サンパウロ市

ウ 実施内容 ブラジル県人会創立110周年記念式典への参加
県・県人会共催晩餐会の開催
県費留学生・海外技術研修員OBとの懇談会
PRイベント「KAGOSHIMA DAY」への参加

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

南米ブラジルにおける日系社会の礎を築いた本県出身者との交流を深め，絆を強めることができた。

(2)文化の薫り高いふるさとかごしまの形成

① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	25,752	6,408	13,000	6,344	23,816	6,381	12,189	5,246
内								
青少年のための芸術鑑賞事業	2,514	—	—	2,514	2,509	—	—	2,509
文化の薫り高いかごしま形成事業	13,978	—	13,000	978	12,189	—	12,189	—
「県民の日7.14」記念事業	1,825	—	—	1,825	1,736	—	—	1,736
読美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）	6,408	6,408	—	—	6,381	6,381	—	—
かごしま文化芸術活動促進事業	1,027	—	—	1,027	1,001	—	—	1,001
内								
文 化 施 設 費	519,834	24,970	438,579	56,285	518,887	38,333	439,145	41,409
内								
文化施設活性化事業	401,063	—	356,691	44,372	400,797	13,363	357,357	30,077
文化施設整備事業	118,771	24,970	81,888	11,913	118,090	24,970	81,788	11,332
計	545,586	31,378	451,579	62,629	542,703	44,714	451,334	46,655

(1) 青少年のための芸術鑑賞事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 内 容

器楽、声楽、邦楽、バレエ、日本舞踊

イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
R3	9公演	1,863人
R4	9公演	814人
R5	9公演	1,497人

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

(2) 文化の薫り高いかごしま形成事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県内の文化芸術活動のうち、①県民の身近な場所での文化芸術鑑賞機会の提供、②活動員の高齢化が進む団体の次世代への活動継承、③観光、まちづくり等との連携及び④国内外で活躍できる若手アーティストや文化芸術活動の指導者などの人材の育成に資する取組に対し助成を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鑑賞機会提供支援（補助率：2分の1以内 上限500千円）

- ・ 文化芸術に触れる機会の少ない地域において文化芸術の鑑賞機会を提供する取組
- ・ 子どもたちの文化芸術活動や鑑賞機会の充実に向けた取組

応募団体数	助成団体数	助成額
30件	19件	6,717千円

イ 活動継承支援（補助率：2分の1以内 上限300千円）

活動員の減少や高齢化が進む団体等が活動継承を図る取組

応募団体数	助成団体数	助成額
4件	1件	283千円

ウ 観光、まちづくり等との連携支援支援（補助率：2分の1以内 上限500千円）

観光、まちづくりと連携した文化芸術の振興に寄与する活動のうち、新規性及び集客効果等が見込まれる取組

応募団体数	助成団体数	助成額
6件	5件	2,375千円

エ 人材育成支援

(ア) 国内外で活躍する人材育成を行う取組（補助率：2分の1以内 上限500千円）

県内で文化芸術活動を行う人材を、国内外で活躍する人材へと育成するための取組

応募団体数	助成団体数	助成額
7件	5件	2,500千円

(イ) 自身の技術の向上を図る取組（補助率：3分の2以内 上限500千円）

国内外で活躍を目指す若者が、コンテストや講習会への参加等により、自身の技術向上を図る取組

応募団体数	助成団体数	助成額
1件	1件	104千円

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

県民の文化芸術活動や鑑賞機会等の充実に資することができた。また、県内の人材育成を図ることができた。

(3) 「県民の日7.14」記念事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

「県民の日（7月14日）」が、ふるさとを愛する心を育むとともに、県民一人ひとりが自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島島の未来について考える日となるよう、関連事業を実施する。

<2> 施策の実施状況(アトアット)

県民の日の認知度向上

ア 記念イベントの実施

「県民の日」の周知・広報を図るため、包括連携協定締結企業と連携したイベント等を実施

(ア) 期 日 令和5年7月9日（日）

(イ) 場 所 イオンタウン始良

(ウ) 内 容 ミニコンサート、クイズ大会等

(エ) 参加者数 ステージイベント 延べ約180人

イ 県有施設の入館・入園料の無料化（7月14日（金））（単位：人）

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	313
霧島アートの森	80
奄美パーク	183
屋久島環境文化村センター	71
フラワーパークかごしま	98
県立博物館プラネタリウム	69
上野原縄文の森	194
計	1,008

ウ 市町村及び民間文化施設の取組

43市町村及び民間の9文化施設において、入館料等の無料化やイベント等が実施された。

エ 学校における取組

県内の約7割の小・中・高校において、鹿児島県の歴史や文化に関する書籍の展示や県民の日に関連した授業などの取組が行われた。

オ 県シンボルマークカラー（青色系統色）による県下一斉ライトアップの実施

・公共施設など 10施設

カ 「県民の日」にちなんだ商品やサービスの提供

・ホテル、飲食店、ゴルフ場など 46店舗等

キ 黎明館における県指定伝統的工芸品の兜の展示

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

県内の小・中・高校等の児童・生徒など、県民に一定の周知が図られた。

(4) 奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（文化振興課）

<1> 施策の目的

世界自然遺産に登録された奄美の独自の文化である島唄の魅力を発信することにより、奄美の自然や文化に対する理解を深める。

<2> 施策の実施状況(アトフット)

ア 公演名：ほこらしや奄美音楽祭

イ 開催日：令和6年2月11日（日）

ウ 開催地：奄美市（奄美川商ホール）

エ 内容：オーケストラによるクラシック演奏、島唄・三味線演奏、島唄とオーケストラの共演

(ア) コンサート

入場者数 1,001人

(イ) 地域との交流

・児童・生徒等を対象としたクリニックの実施

参加者数 56人

・ミニコンサートの実施

入場者数 180人

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

クラシック曲や島唄の魅力を発信することで、文化芸術への関心を高め、奄美の自然や文化への理解の促進を図ることができた。併せて来島したオーケストラ団員と地域との交流を図ることができた。

(5) かごしま文化芸術活動促進事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県民や文化芸術団体等が一堂に会して、日頃の活動の成果を発表する「県民文化フェスタ」の開催を支援する。

令和5年度は伊佐市及び鹿児島市で開催

<2> 施策の実施状況(アトフット)

ア 行事名：①県民文化フェスタ in いさ2023 ②県民文化フェスタ in かごしま2023

イ 開催日：①令和5年8月20日（日） ②令和6年2月1日（木）～4日（日）

ウ 会場：①伊佐市文化会館 ②宝山ホール（舞台発表）、かごしま県民交流センター（作品展示）

エ 内容：①郷土芸能の披露 ②箏や薩摩琵琶等の披露、絵画や書などの作品展示

オ 入場者数：①952人 ②896人（舞台発表）、413人（作品展示）

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

「県民文化フェスタ」の開催により、県内の文化芸術団体等の活動の促進を図るとともに県民の文化芸術活動に対

する関心を高めることができた。

(6) 文化施設活性化事業（文化振興課）（一部地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の3施設について、効率的で円滑な管理・運営を図るとともに、文化拠点施設としての機能活性化を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

文化センター活性化事業、みやまコンセール活性化事業、霧島アートの森活性化事業

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の各施設について、指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において、施設・設備等の維持管理、文化事業の企画及び実施、施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

[文化センター]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第44回霧島国際音楽祭「宝山ホール祭り」 ・ 第44回霧島国際音楽祭キリシマ祝祭管弦楽団公演 ・ 2023かごしま県民第九演奏会 ・ 宝山プレゼンツ 岡本誠司ヴァイオリン・リサイタル ・ 小野リサ ボサノヴァ・コンサート <p style="text-align: right;">など</p>	10	10,213人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第72回鹿児島県高等学校音楽祭 ・ 鹿児島交響楽団第99回定期演奏会 ・ 若葉Festival ・ デリバリー・ミニコンサート <p style="text-align: right;">など</p> <p>※一部公演等については、台風のため中止</p>	16	17,005人
文化芸術に関する情報収集・提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財団情報誌「憩」の作成・配布 ・ ボランティアスタッフによる広報活動 <p style="text-align: right;">など</p>	3	—

[みやまコンセール]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第14回みやまスペシャルコンサート ・ 野外音楽フェス～みやまの森の響き～ <p style="text-align: right;">など</p>	5	3,683人
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第91回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・ みやまふれあいコンサート ・ 宮田大&大萩康司 スペシャル・デュオ <p style="text-align: right;">など</p>	10	3,171人
霧島国際音楽祭運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第44回霧島国際音楽祭 令和5年7月21日～8月6日 <p>みやまコンセールを中心に、国内外の著名な音楽家や多数の受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と若手演奏家の育成を図った。</p>	—	9,466人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・ みやま音楽アカデミーⅠ～Ⅱ <p style="text-align: right;">など</p> <p>※一部公演等については、台風のため中止</p>	15	20,748人

[霧島アートの森]

区 分	内 容	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・特別企画展 飯川 雄大 展 ・霧島アートの日 11月3日 など	7,848人
文化芸術鑑賞事業	・野外常設展(通年) ・屋内コレクション展(年4回) ・園内ツアー(通年)	61,994人

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

(7) 文化施設整備事業(文化振興課)

<1> 施策の目的

文化センター、みやまコンセール及び霧島アートの森の機能の維持・充実に図るため、施設・設備等の補修等を行う。また、霧島国際音楽祭の魅力向上と集客促進を図るため、みやまコンセールへのパイプオルガンの整備に向けた調査等を実施する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

施設機能の維持・充実に図るため、みやまコンセールの中央監視装置更新等を行った。また、パイプオルガンの設置に向け、海外工房での製作、架台設置や転倒防止のためのアンカー設置に係る設計委託及び選定委員会委員によるデザイン案の協議を行った。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県民の文化芸術活動の拠点施設としての機能の維持・充実に図られた。また、パイプオルガンの設置に向けて本体の製作に着手したほか、デザインの決定や附属工事の設計を行い、着実に整備が進められた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
黎明館費	76,954	4,130	20,636	52,188	74,317	4,083	22,439	47,795
内								
黎明館常設展示運営事業	20,048	—	247	19,801	19,632	—	329	19,303
黎明館企画展示事業	21,130	—	8,389	12,741	20,368	—	10,050	10,318
黎明館資料収集整備事業	2,101	—	—	2,101	1,778	—	—	1,778
県史料編さん事業	19,319	—	12,000	7,319	18,508	—	12,060	6,448
鶴丸城跡保全整備事業	9,904	4,130	—	5,774	9,686	4,083	—	5,603
訳								
歴史・文化ゾーン活性化事業	4,452	—	—	4,452	4,345	—	—	4,345
計	76,954	4,130	20,636	52,188	74,317	4,083	22,439	47,795

(1) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島県の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
R3	304日	30,943人
R4	307日	39,459人
R5	307日	51,042人

※R3は新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数が減

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
幕末・明治 初公開資料展	令和5年6月6日～8月27日	8,103人
中世前期の領主居館	令和5年9月5日～11月26日	8,802人
生誕130年孤高の画家 有馬さとえ展	令和5年12月5日～令和6年3月3日	5,092人
伝統と革新の融合 鹿児島城	令和6年3月12日～6月2日	※10,936人

※うち令和5年度中は2,574人

ウ 体験学習講座

4回開催，受講者数56人

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(2) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより、本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を深める。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 黎明館企画特別展「南北朝の動乱と南九州の武士たち」令和5年9月29日～11月5日，入場者数5,929人

「黎明館開館40周年記念展 黎明館の至宝」令和6年2月2日～2月25日，入場者数4,923人

イ 黎明館講演会 6回開催，入場者数833人

ウ ふるさと歴史講座 1回開催，受講者数113人

エ 古文書講座 8回開催，受講者数 49人（延べ333人）

オ 学芸講座 11回開催，受講者数477人

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(3) 黎明館資料収集整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上，整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

令和5年度収集資料 225点

令和5年度末累計 182,698点

「黎明館調査研究報告第36集」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県関係の歴史資料の収集や保存，専門的・学術的な調査・研究が図られた。

(4) 県史料編さん事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県の史料を編さんし，本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

「旧記雑録拾遺神社調三」，「市来四郎史料四」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県の基礎史料の整備が図られた。

(5) 鶴丸城跡保全整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

石垣の現況調査等に基づき優先順位や緊急性の高い箇所等を特定し，専門家の指導に基づき，史跡保護の観点からも適切な工法で，計画的に修復（修理）工事等を実施する。

鹿児島城跡石垣の歴史的価値や特徴などについて広く県民に周知，情報発信することにより，鹿児島城跡の価値や魅力を認識し，保存活用の意識の向上につなげる。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

令和3～5年度に作成した石垣カルテをもとに，石垣調査報告書を作成した。

国史跡鹿児島城跡保全整備専門家検討会議の開催（令和5年8月23日，令和6年2月9日）

鹿児島城跡石垣を理解するためのシンポジウムの開催（令和6年1月8日 於 歴史・美術センター黎明館 参加者163人）

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

石垣カルテの作成により，各石垣面の構築時期や修復履歴等，鹿児島城跡石垣の基礎情報が集約された。

鹿児島城跡石垣の本質的価値が明らかになり，各石垣面の危険度判定を行ったことで，今後の石垣整備方針の策定が可能になった。

鹿児島城跡の保存活用に対する県民の意識の向上が図られた。

(6) 歴史・文化ゾーン活性化事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

歴史・文化ゾーンや城山を含む一帯が，県民をはじめ国内外の人が集う歴史・文化芸術や観光の拠点となるよう同エリアの高付加価値化やさらなる充実に向け，意見交換会やイベントを実施した。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

歴史・文化ゾーン活性化に係る意見交換会の開催（令和5年7月20日，9月28日，令和6年3月14日）

歴史・文化ゾーン回遊性向上イベント「鹿児島城祭り」の開催（令和5年11月25日，11月26日）

＜3＞ 施策の実施による成果(アウカム)

歴史・文化ゾーンに関わりのある民間事業者，文化施設，行政等が今後のゾーンの活性化に向けて必要な方策をとりまとめた。

また，イベントを通して歴史・文化ゾーンの魅力発信及び交流人口の拡大が図られた。

③ 文化芸術に係る人材の育成

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	6,341	—	—	6,341	5,381	—	—	5,381
内 訳 文化行政推進体制整備 事業	6,341	—	—	6,341	5,381	—	—	5,381
計	6,341	—	—	6,341	5,381	—	—	5,381

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催，文化振興推進員の設置等により本県文化の振興を図る。

<2> 施策の実施状況(アトプット)

ア 芸術文化奨励賞

- ・授賞式：令和5年11月27日
- ・受賞者：個人の部 美術部門 山下 晴道氏
美術部門 宮内 裕賀氏
団体の部 音楽部門 NPO法人ハッピープリンデン

イ 文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和5年9月5日
- ・会 場：かごしま県民交流センター
- ・出席委員：16人/17人中
- ・議 題：県文化芸術推進基本計画に基づく施策の令和4年度実績及び令和5年度の展開について

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県民文化フェスタ等における関係団体との調整等
- ・任 期：令和5年4月1日～令和6年3月31日

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

文化芸術振興審議会の開催や文化振興推進員の設置を通じて，本県文化行政の推進を図ることができた。

④ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	5,152	—	—	5,152	5,095	—	—	5,095
内 訳								
文化芸術交流促進事業	5,152	—	—	5,152	5,095	—	—	5,095
文 化 施 設 費	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
内 訳								
文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営事業)(一部再掲)	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
計	44,501	—	33,000	11,501	44,444	—	33,000	11,444

(1) 文化芸術交流促進事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

海外の文化芸術団体等の文化交流の促進を図り、国際性豊かな感性をそなえた県民の育成や特色ある郷土文化の発展に資することを目的として、香港、シンガポール、全北特別自治道（韓国）との交流会議における合意事項に基づき、文化芸術団体を隔年おきに相互に派遣（受入）する。

〈2〉 施策の実施状況(アウト)

ア シンガポールとの文化芸術交流

- (ア) 受入団体「ハッピーウカーズグループ (HUG)」計16人
- (イ) 日程 令和5年11月21日（火）～24日（金）
- (ウ) 日置市総合文化祭への出演（令和5年11月23日）
- (エ) 県内文化団体「アロハルミコスタジオ」との交流（令和5年11月22日）

イ 全北特別自治道との文化芸術交流

- (ア) 受入団体「南原国楽芸術高校」計22人
- (イ) 日程 令和6年2月2日（金）～6日（火）
- (ウ) 県民文化フェスタinかごしま2023への出演（令和6年2月4日）
- (エ) 甲南高校での公演・交流会（令和6年2月5日）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

- ・ 海外の文化芸術団体と県内の文化団体や高校生との交流を実施することで相互の文化芸術への取組の理解につながることができた。

(2) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉 （一部再掲）

4 (2) ①(6)において前述

(3) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	26,042	—	—	26,042	24,703	—	2,172	22,531
内 県民総ぐるみ・鹿児島 ユナイテッドFC支援 事業	16,500	—	—	16,500	16,500	—	—	16,500
内 「鹿児島レブナイズ」 活動強化支援事業	1,620	—	—	1,620	1,620	—	—	1,620
内 スポーツかごしま活性 化事業	7,922	—	—	7,922	6,583	—	2,172	4,411
計	26,042	—	—	26,042	24,703	—	2,172	22,531

(1) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島ユナイテッドFC」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会に対する負担金の拠出

イ 鹿児島ユナイテッドFCに対する広告料の支出

ウ その他側面的な支援

- ・ふぁんねっとメールや公式Instagram等を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシの配布、ポスターの掲示
- ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

2023シーズン（R5.3月～R5.12月）の年間総入場者数が112,184人（前年比31,605人増、39%増）と増加した。

(2) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島レブナイズ」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会に対する負担金の拠出

イ 鹿児島レブナイズに対する広告料の支出

ウ その他側面的な支援

- ・ふぁんねっとメールや公式Instagram等を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎でのチラシの配布、ポスターの掲示
- ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

2023-24シーズン（R5.10月～R6.5月）の年間総入場者数が63,815人（前年比27,052人増、73%増）と増加した。

(3) スポーツかごしま活性化事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

かごしまのスポーツ資源などを活用して、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成

地域資源との相乗効果による持続可能な交流人口の拡大に資する継続的なスポーツイベント等の開催に要する経費の一部を助成

補助団体数	補助額
13件	4,000千円

イ スポーツかごしま活性化連絡会の設置・運営

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等の連携による認知度向上の取組を推進する。

(連絡会の開催：5回，連携PR活動の実施：4回)

ウ かごしまスポーツ応援団体の認定

スポーツ振興の取組を積極的に応援する県内の企業等7団体を「かごしまスポーツ応援団体」として認定し、本県スポーツを支える重要な資源として、その取組等を県民に周知することにより、企業等がスポーツを応援する機運を醸成し、本県のスポーツ振興を図った。

エ 薩摩おいどんカップ2024における本県PRの実施

カテゴリーの枠を超えた大規模な野球の交流戦である「薩摩おいどんカップ」において、配信映像や大会HP、球場横断幕における広告の掲出や来場者に対する観光等PRを行い、本県のPRを実施した。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内で新たなスポーツイベント等の開催が促進されたほか、かごしまスポーツ応援団体の認定や薩摩おいどんカップ2024の開催により、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化が図られた。

② 良質なスポーツ環境の提供

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	31,059	—	—	31,059	30,673	—	—	30,673
内 訳								
ス ポー ツ ・ コ ン ベ ン シ ョ ン セ ン タ ー 整 備 事 業	31,059	—	—	31,059	30,673	—	—	30,673
計	31,059	—	—	31,059	30,673	—	—	30,673

(1) スポーツ・コンベンションセンター整備事業（スポーツ・コンベンションセンター整備課）

〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

スポーツ・コンベンションセンターの整備・運営に係るPFI事業の実施に向けた取組を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

スポーツ・コンベンションセンターの整備運営に係るPFI事業の実施に向け、専門のコンサルタントを活用し、事業概要や事業者の募集・選定に関する事項等を定める「実施方針」や、設計、建設、維持管理・運営等に係る要件等を定める「要求水準書(案)」, 事業者の募集及び選定に係る「入札関係資料」等を作成した。

また、PFI手法、建築、都市計画、経営など各分野の専門家で構成する「県スポーツ・コンベンションセンター整備運営事業者選定委員会」を設置・開催し、作成した資料等について専門的な観点から協議していただいた。

「実施方針」, 「要求水準書(案)」の公表後は、これらについて、事業者に対する説明会や、事業者からの質問・意見の受付・回答、事業者との意見交換会を行うとともに、事業者からの意見等も踏まえ、必要な修正を行った。

ア 県スポーツ・コンベンションセンター整備運営事業者選定委員会の開催

第1回 令和5年9月28日(木) 実施方針, 要求水準書(案)の協議等

第2回 令和5年12月21日(木) 実施方針(変更版), 要求水準書(案)(修正版), 落札者決定基準方針の協議等

第3回 令和6年3月22日(金) 実施方針(変更版), 要求水準書(案)(修正版), 落札者決定基準の協議等

イ 実施方針等の公表

令和5年10月13日(金) 実施方針, 要求水準書(案)の公表

令和5年12月28日(木) 実施方針(変更版), 要求水準書(案)(修正版)の公表

ウ 事業者への説明等

令和5年10月27日(金) 実施方針等に関する説明会の開催

・参加社数：56社

令和5年11月30日(木) 実施方針等に関する質問意見に対する回答の公表

・質問等受付期間：10月13日(金)～31日(火)

・質問意見数：延べ344件

令和6年1月15日(月) 事業者との意見交換会の開催

～17日(水) ・参加社数：24社

令和6年2月16日(金) 意見交換会における対話内容の公表

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

令和6年4月5日(金)に、入札関係資料(入札説明書, 落札者決定基準, 基本協定書(案), 事業契約書(案)等)を公表した。

11 観光の「稼ぐ力」の向上

(1) 国内外における戦略的なPRの展開

① 多彩な魅力を活用したPRの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
中小企業振興費	1,589	—	—	1,589	1,159	—	—	1,159
内訳 薩長土肥連携事業	1,589	—	—	1,589	1,159	—	—	1,159
計	1,589	—	—	1,589	1,159	—	—	1,159

(1) 薩長土肥連携事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

明治維新150周年を記念して、平成30年度に鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の4県が締結した「薩長土肥同盟」に基づき、4県が連携して青少年の交流事業を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

薩長土肥連携青少年交流事業

- ・実施日：令和5年10月7日（土）～9日（月・祝）
- ・場所：坂本龍馬記念館、牧野植物園 等
- ・参加者：鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の高校生 39人

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

青少年の交流事業を通して、参加した高校生が各県の歴史について理解を深めるとともに相互の交流を図ることができた。

② Web等を活用したプロモーションの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
観 光 費	12,344	12,344	—	—	12,164	12,164	—	—
内 訳 かごしまイメージアッ プ事業	12,344	12,344	—	—	12,164	12,164	—	—
計	12,344	12,344	—	—	12,164	12,164	—	—

(1) かごしまイメージアップ事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

キャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」やPR動画を活用したプロモーションを実施し、本県の多彩な魅力を発信する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「動かすPR」を行うためのPR手法の習得研修

メディアやSNSを活用した効果的なPR手法や、デジタルデータの活用法を習得することを目的とした職員向け研修を実施した。

- ・日 程：令和5年8月8日（火）
- ・会 場：オンライン開催
- ・参加者：96人（県職員）

イ 東京モノレールにおける広告掲出

本県への旅行や県産品の購入につなげるため、人口が多く、訴求力の高い首都圏の交通媒体である東京モノレールの1編成6車両において広告を掲示し、本県の魅力や観光かごしま大キャンペーンの情報を発信した。

- ・運行期間：令和6年1月6日（土）～2月13日（火）
- ・運行区間：浜松町駅～羽田空港第2ターミナル駅
- ・運行本数：934本

ウ イベント等を活用したPR

(ア) 「2023かごしま総文」及び「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の期間に合わせて、鹿児島中央駅大型ビジョンにおいてPR動画を放映した。

- ・期 間：令和5年7月31日（月）～8月6日（日）、令和5年10月1日（日）～10月31日（火）

(イ) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」において配布される競技会弁当の掛け紙を作成し、鹿児島の観光地や特産品をイラストと文章で紹介することで、鹿児島の多彩な魅力をアピールした。

- ・期 間：令和5年10月27日（金）～10月30日（月）
- ・配布数：13,313枚

(ウ) キャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」を活用したPR資材（法被、ミニのぼり、ネームストラップ等）を作成した。

(エ) 鹿児島中央駅地下通路において、「南の宝箱 鹿児島」のポスター画像を使用した電照コルトンを制作・掲出した。

(オ) 県庁舎前に設置されていたかごしま国体・大会のPR看板を活用し、「南の宝箱 鹿児島」をPRする看板へ切り替えた。

エ SNSによる情報発信

InstagramやFacebookにおいて、風景や観光地などの鹿児島の多彩な魅力の情報発信を行った。

発 信 媒 体	フォロワー数（年度末時点）			R5	投稿 頻度	開始 時期
	R3	R4	R5	投稿数		
Instagram（アカウント名：南の宝箱 鹿児島）	16,207人	17,932人	19,299人	153回	週3回程度	H30.10
Facebook（アカウント名：PR観光課）	3,819人	4,014人	4,225人	180回	週3回程度	H28.6

オ 海外向け魅力発信動画制作

鹿児島県民の個人ストーリーを通じて特産品・伝統的工芸品・食文化などを英語で紹介する動画を作成し、YouTubeを活用して本県の多彩な魅力を国内外へ広く発信した。

- ・アカウント名：People of Kagoshima
- ・発信媒体：YouTube
- ・開始時期：令和3年8月
- ・投稿頻度：5回／年
- ・登録者数：6,020人（令和6年3月末時点）
- ・再生回数：235,038回（令和5年4月～令和6年3月）

<3> 施策実施による成果(アタカ)

PR動画等を活用したプロモーションの実施やSNSを活用した積極的な情報発信を行ったことにより、本県の多彩な魅力を国内外に広く発信することができ、更なるイメージアップや認知度向上が図られた。

(2) 魅力ある癒やしの観光地の形成

① 観光関係施設等の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,583,082	65,416	1,377,349	140,317	1,100,215	24,950	992,349	82,916
内 訳								
魅力ある観光地づくり事業	1,460,349	4,050	1,322,349	133,950	1,058,425	4,050	974,349	80,026
奄美パーク改修等事業	122,733	61,366	55,000	6,367	41,790	20,900	18,000	2,890
計	1,583,082	65,416	1,377,349	140,317	1,100,215	24,950	992,349	82,916

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 401,454千円

奄美パーク改修等事業 翌年度への繰越額 80,933千円

(1) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、地域素材を生かしたにぎわい空間や体験空間の創出、沿道修景などの景観整備やわかりやすい案内標識の整備を行い「魅力ある観光地づくり」を推進する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

(にぎわい回廊整備状況)

地 域 名	整 備 箇 所
鹿 児 島	日本遺産周遊観光ルート整備（いちき串木野市）
南 薩	池田湖周辺景観整備（指宿市）
北 薩	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）
	出水武家屋敷群散策拠点整備（出水市）
	日本遺産周遊観光ルート整備（出水市・薩摩川内市）
	甌島観光交流拠点整備（薩摩川内市）
	長島サンセットロード景観整備（長島町）
	阿久根北部観光拠点整備（阿久根市）
始良・伊佐	肥薩線沿線周遊観光ルート整備（霧島市）
	重富まち歩き拠点整備（始良市）
	加治木まち歩き拠点整備（始良市）
	日本遺産周遊観光ルート整備（始良市）
	曾木の滝周遊景観整備（伊佐市）
	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大 隅	大隅歴史散策拠点整備（肝付町、東串良町）
	雄川の滝周辺景観整備（南大隅町）
	日本遺産周遊観光ルート整備（志布志市）
熊 毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
大 島	大和村観光拠点整備（大和村）
	西郷南州史跡周辺整備（龍郷町）
	奄美トレイル観光環境整備（宇檢村・喜界町・伊仙町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、外国語併記の観光案内標識等の整備を行った。

(案内標識設置状況)

(単位：基)

種 別	～R3	R4	R5	計
観光案内板	33	—	—	33
観光案内標識 (かごしまロマン街道)	1,029	4	4	1,037
九州自然歩道標識	531	—	—	531
計	1,593	4	4	1,601

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識(サイン)整備

外国語併記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

(2) 奄美パーク改修等事業 (PR観光課)

<1> 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい施設となるよう改修を実施する。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

施設機能の維持・充実を図るため、奄美の郷の空調設備改修及び多目的広場の高倉改修を行った。

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

(3) 戦略的な誘客の展開

① 観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	12,207	—	—	12,207	11,158	—	—	11,158
内訳	「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	—	—	12,207	11,158	—	—	11,158
観光費	233,515	153,567	2,578	77,370	228,275	150,521	2,578	75,176
内訳	観光かごしま大キャンペーン推進事業	75,000	72,422	2,578	75,000	72,422	2,578	—
	「稼ぐ力」向上のための誘客プロモーション事業	35,191	35,191	—	34,599	34,599	—	—
	2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業	3,561	1,714	—	1,847	3,011	—	1,505
	フィルムコミッション活動支援事業	8,739	4,369	—	4,370	8,739	—	4,370
	修学旅行等対策事業	1,200	600	—	600	1,200	—	600
	教育旅行プロモーション事業	3,019	3,019	—	—	2,755	—	—
	わたしの鹿児島よかとこ旅事業	5,597	5,597	—	—	5,594	—	—
	鹿児島・佐賀相互誘客事業	6,495	6,495	—	—	4,780	—	—
	南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	—	—	2,000
	「稼げる」観光地域づくり推進事業	26,162	18,617	—	7,545	25,737	—	7,384
	サイクルツーリズム推進事業	15,191	5,543	—	9,648	13,500	—	7,957
	磯新駅設置支援事業	51,360	—	—	51,360	—	—	51,360
計	245,722	153,567	2,578	89,577	239,433	150,521	2,578	86,334

【参考】①目標値

項目	区分	基準年 (H30年)	目標 (R6年)	現状 (R5年)
(1) 宿泊者数を増やす ^(注1)				
①	延べ宿泊者数	約8,864千人泊	9,900千人泊	8,153千人泊
②	①のうち、外国人延べ宿泊者数	約831千人泊	1,500千人泊	362千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす				
		(H30年度)	(R6年度)	(R5年度)
	観光客の満足度	約76%	100%	約88%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
延べ宿泊者数	8,366,340	5,126,520	4,925,760	6,089,460	8,152,790

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業（文化振興課 世界文化遺産室） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全や、次世代への継承に向けた普及啓発、世界遺産価値の理解増進・情報発信に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

a 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムの開催

日程：令和5年11月18日

場所：県立図書館 大研修室

b 構成資産の管理保全に係る各種会議（保全委員会、集成館地区管理保全協議会等）への参加

(イ) 普及啓発

「明治日本の産業革命遺産」及び県内の構成資産について、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

増刷部数	配布先	活用等	規格等
12,500部	県内の小学5年生, 市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・教職員研修での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	集成館事業に関連する県内の産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童向けの出前講座 (1) 日 程 令和5年10月13日, 18日, (2) 内 容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	さつま町立永野小学校 さつま町立盈進小学校	6人 83人
	2 一般県民向けバスツアー・まち歩き (1) 甲突川河口域の近代化遺産まち歩き ① 日 程 令和5年11月4日 ② 内 容 集成館事業を支えた大砲製造について学ぶ (2) 薩摩焼の技術を訪ねるバスツアー ① 日 程 令和6年2月10日 ② 内 容 薩摩焼の技術等について学ぶ	天保山砲台跡等 沈壽官窯の收藏庫等	24人 35人

(ウ) 理解増進・情報発信

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図った。

a 観光素材相談会（東京、大阪、福岡）及び教育旅行説明会（広島）への参加

b 「かごしま産業遺産の道」を紹介するガイドブックの制作

名称	作成部数	規格等
『かごしま産業遺産の道』ここには日本近代化の原点がある	3,000部	A5・79頁

c 県内構成資産紹介パンフレットの増刷

名称	作成部数	規格等
明治日本の産業革命遺産「産業国家」日本の原点 鹿児島	7,000部	A4・16頁

d 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」認定・登録

育成研修名：鹿児島大学大学院「総合講義（鹿児島県における世界文化遺産）」

研修実施日：令和6年1月20日，21日，2月3日

研修修了者：11人

認定・登録者：34人（累計，令和6年3月31日現在）

e 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」フォローアップ研修の実施

研修実施日：令和6年2月10日，24日，3月2日

研修内容：ガイド案内の基本事項に係る座学，関吉の疎水溝・旧集成館反射炉跡等でのガイド実習

参加者：当該案内士など16人

イ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(ア) 世界遺産委員会決議への対応

国が，令和5年9月に開催された第45回世界遺産委員会において令和4年11月30日付けでユネスコに提出した保全状況報告書が審議され，世界遺産センター及び諮問機関によるレビューのために，最新の情報を提出することを要請された。

(イ) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8県11市23資産の理解増進及び情報発信	① フォトコンテストの実施 ② 構成資産を舞台としたミステリー小説の制作・公開（令和5年度は県外の構成資産を舞台とする4作品） ③ ブックカバー広告の制作・配布 ④ ホームページ更新 など

(ウ) 人材育成

項目	取組内容
ガイドの人材育成	① ガイド研修会の開催 日 程：令和5年11月28，29日 場 所：鹿児島市 対象者：各構成資産地域のガイド，自治体職員等 82人 内 容：地域のガイド活動事例など
自治体職員の人材育成	② 管理保全研修会の開催 日 程：a 令和5年5月17日（現地（福岡）とオンライン併用） b 令和6年1月17日（現地（福岡）とオンライン併用） 場 所：福岡県 対象者：自治体職員（a 31人，b 35人） 内 容：管理保全の概要，端島炭坑の保全の取組についてなど

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

小学生向け副読本や「かごしま産業遺産の道」ガイドブックの配布等により，県内構成資産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また，世界遺産委員会決議への対応や人材育成の取組などにより構成資産の管理保全を図るとともに，フォトコンテストやミステリー小説の制作などにより本遺産に対する理解増進等が図られた。

(2) 観光かごしま大キャンペーン推進事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため、メディア、キャリア、エージェント等を活用した効果的な誘客キャンペーン等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

官民一体となり、鹿児島県の観光を再活性化し、一層の誘致促進を図るため、新しい旅のスタイルやニーズの多様化に対応したコンテンツ造成や情報発信のほか、キャリアタイアップ等による、誘客キャンペーンに取り組む観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

【誘客対策】

ア 旅行需要を喚起する観光素材の創出

(7) 広域観光周遊ルート整備

a 拠点発周遊の促進

①拠点発周遊観光マップ（かごしまマップ）の改訂

②地域を知るモニターツアー 霧島コース・指宿コースの実施

参加者：34人（2コース合計）

b 離島の旅の推進

①地域を知るモニターツアー 奄美大島コースの実施

参加者：30人（3コース合計）

②富士山静岡空港利用促進協議会（静岡県空港振興課）との連携

(イ) 本県観光素材及びテーマ等を活用した誘客促進

a 持続可能な観光素材の活用

観光パンフレット「つなぐ、つむぐ旅 鹿児島」の増刷及びポスターデータの作成、印刷を行った。

b 持続可能な観光への取組支援

持続可能な観光をテーマに実施された「国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会」の会議等に参加し、各取組への支援及び情報収集を行った。

(ウ) 着地型観光の造成推進

a 個人旅行者向け体験型旅行商品販売推進事業（V I S I T鹿児島県の運用）

鹿児島県の体験プラン販売サイト「V I S I T鹿児島県」の運営・管理や、体験プランの追加を実施した。

期 間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

令和5年度新規商品：21商品

b 商品造成支援，ヒアリングの実施

商品造成支援のため、県内2地域の関係者を訪問し、ヒアリングを実施した。

c 販売促進

①「南の宝箱鹿児島 体験キャンペーン」の実施

県内の魅力ある観光資源及びV I S I T鹿児島県の認知度向上を目的に、取り扱う体験商品を半額（割引上限額5,000円）で販売するキャンペーンを実施し、地元フリーペーパー及びSNS（Instagram）に広告を掲載する等した。

期 間：令和6年2月1日（木）～3月19日（火）催行分まで

対象商品：約70商品

イ 戦略的な情報発信

(7) 県公式観光サイト等を活用した情報発信

鹿児島の魅力を効果的にPRするため、こまめな情報の更新や県関係の別サイトへの接続による情報の一元化に取り組むとともに、ホームページへのアクセス数解析に使用している「グーグル・アナリティクス」により分析しながら効果的な記事の作成を行った。

(イ) 各種媒体及びテーマに沿った情報発信

a 広報媒体を活用した情報発信

個人旅行者に対して、旅先としての鹿児島県の認知度を高めるため、旅行雑誌「旅の手帖」（約10万部）や「ことりっぷマガジン」（約8万部）を活用した情報発信等を実施した。

b イベントを活用した情報発信

博多駅前おもてなしイベント「鹿児島観光物産展」や「ひろしま発！旅行ナビ2023」等、各地のイベントに出展を行った。

c ツーリズムEXPOジャパン2023関西・大阪出展

世界最大級の総合観光イベントに出展し、鹿児島県の魅力を発信した。

来場者数：148,062人

ウ 効果的なプロモーション展開

(7) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援事業の実施

①離島募集型企画旅行商品造成支援事業

県内の離島2島以上宿泊する旅行商品を造成した旅行会社に対し支援を実施した。

助成額：離島1人泊につき1,000円（1旅行商品の上限30万円など上限設定あり）

助成実績：12件

実績人泊数：1,543人

②受注型企画旅行等団体旅行誘致支援事業（貸切バス）

県内のホテル、旅館等に1泊以上の宿泊を伴う受注型企画旅行及び手配旅行に対し助成を実施した。

助成額：1台4万円（2台目以降5万円、上限19万円（4台））

桜島加算5千円/台、有料観光施設加算5千円/行程、ゴルフ加算1千円/人

対象期間：令和5年4月1日（土）～令和6年2月28日（水）（除外：4月29日（土）～5月8日（月））

実績：30件 36台

b 旅行エージェント等現地視察研修等への支援（実績：1件）

c 旅行エージェント・キャリアと連携したキャンペーンの実施

①旅行社タイアップ事業（3社）

②キャリアタイアップ事業（6社）

(4) 観光関係団体等と連携した誘客促進

県外事務所や、教育旅行受入対策協議会等の各種観光関係団体と連携した事業を実施し、新たな観光素材やタイムリーな情報の提供を行った。

【誘客拡大特別対策】

ア テーマ性のある観光キャンペーン

(7) 大都市圏からの誘客キャンペーン

a J R西日本と連携したキャンペーン

①個人型施策（令和5年10月31日（火）～令和6年2月29日（木））

キャンペーンに参加した旅行者に対する旅行費用の還元を実施するとともに、WEB広告によるプロモーションを実施した。

観光利用の送客数（推定値）：10,130人

②団体型施策（令和5年10月1日（日）～令和6年3月24日（日））

旅行事業者に対する旅行商品の造成支援及びJ R西日本の広報媒体等による情報発信を実施した。

送客数：2,062人泊

b J R九州と連携したキャンペーン（令和6年4月）

全国のJ R主要駅（約800駅）への「南の宝箱 鹿児島」ポスター（3種類）掲出による集中的な情報発信を実施した。

c 商船三井さんふらわあと連携したキャンペーン（令和5年11月～令和6年1月）

ペット連れ旅行者をターゲットに、さんふらわあのウィズペトルームやペット連れでも訪れることができる

観光スポット等の発信による誘客促進を実施した。

総インプレッション数：516,156回

(イ) 重点地域の特定コンテンツ（世界遺産を含む）を活用した周遊促進キャンペーン

a ANAと連携したキャンペーン

「南の宝箱 鹿児島」に出かけよう！キャンペーン（令和5年9月28日（木）～令和6年3月29日（金））

① ANAキャンペーン特別サイト

PV数：62,965回，UU数：43,589回

② ANA Pocketチャレンジキャンペーン（令和5年10月1日（日）～12月31日（日））

「ANA Pocket」のアプリをダウンロードして観光スポットを巡るチャレンジに参加すると、特産品等がゲットできるキャンペーンを実施。

延べ参加者数：77,182人，延べ達成者数：2,264人

③ ANA公式YouTubeチャンネル「BLUE SKY NEWS」での奄美大島の魅力発信（令和5年11月）

動画視聴回数：51,481回

④ ANA LIVE SHOPPINGでの食（鹿児島黒牛等）の魅力発信（令和5年11月22日（水））

PV数：12,035回，UU数：10,575回

⑤ ANAダイナミックパッケージ割引クーポンの配布（令和6年1月10日（水）～3月29日（金））

配布数：113枚

イ 誘客促進活動

(ア) 九州観光機構と連携した誘客促進活動

a 観光素材集の作成

b 観光素材相談会の実施（相談件数：78件）

(イ) 県内外イベントにおけるPR活動

本県への誘客が期待できるイベント等へ出展し、観光情報の発信を行った。

イベント	期間	場所
関西かごしまファンデー	令和5年5月7日	マイドリームおおさか
2023かごしま総文総合開会式	令和5年7月29日	西原商会アリーナ
福岡市観光おもてなしイベント	令和5年8月4日～6日	博多駅前広場
燃ゆる感動かごしま国体 ・かごしま大会	令和5年10月7日～17日 令和5年10月28日～30日	鴨池公園ぐりぶー広場
ツーリズムEXPOジャパン	令和5年10月26日～29日	インテックス大阪
かごしまの夕べ	令和6年1月26日	セルリアン東急ホテル
FDA鹿児島空港乗り継ぎ キャンペーンPRイベント	令和6年1月27日～28日	新静岡セノバ
観光物産展「大鹿児島展」	令和6年2月22日～23日	東武百貨店池袋店

(ウ) 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において、観光物産展での観光PRや、地元メディアによるPRなど、現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

(エ) その他の誘客促進活動等

NEXCO西日本「ぎゅぎゅつと九州まんきつドライブバス2023」への特典提供

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

令和5年度年間値（R5.4月～R6.3月 観光庁「宿泊旅行統計調査」月別 ※R6.1月～3月は速報値）

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	8,108,970	120%
うち国内客宿泊数	7,672,990	116%

新しい旅のスタイルやニーズの多様化に対応した各種事業を展開するとともに、本県観光の付加価値の向上や県内広域に波及効果がある観光周遊ルートづくり、旅行エージェントや交通キャリア等とタイアップした効果的な誘客の展開により、令和5年度の鹿児島県延べ宿泊者数のうち国内宿泊者数は8,108,970人泊、前年比増減率は120%となった。

(3) 「稼ぐ力」向上のための誘客プロモーション事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

本県観光客の観光消費動向調査を行うとともに、効果的なプロモーションの実施により誘客促進と観光消費額の向上を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アット）

ア 観光消費動向調査

クレジットカード決済情報を活用し、県内で消費を行う観光客の属性や消費動向、周遊傾向などの調査を実施

イ 効果的な誘客促進

ターゲット（年代、性別等）に最適な媒体（SNS、映像、活字等）を用いたプロモーションを実施

(ア) SNSを活用した情報発信

a インフルエンサーによるSNSでの情報発信（Instagram）

20歳代の男女をメインターゲットに、インフルエンサーの動画投稿を通して、離島（奄美群島、屋久島）の食やアクティビティ等の魅力を発信した。

投稿期間：令和5年9月22日（金）～10月13日（金）

総再生数：2,847,333回（令和6年2月29日時点）

b SNS広告配信（Instagram）

総再生数：629,533回、誘導数：17,035回

c 特設サイト「【南の宝箱】鹿児島県離島撮り巡り」

インフルエンサーの投稿動画内で紹介したコンテンツ等の情報を集約した特設サイトを作成した。

PV数：42,801回（令和6年2月29日時点）

d 追体験投稿（Instagram）

上記インフルエンサーが投稿した動画の内容を、別のインフルエンサー3人に追体験してもらい、SNSでの投稿を行った。

リーチ数：954,513回

(イ) 活字媒体を活用した情報発信

a 宿泊情報誌「ゆこゆこ」での情報発信

50歳以上の男女をメインターゲットに、鹿児島県内の宿泊施設や食、温泉などの情報や、旅行商品に関する記事を作成し、令和5年12月15日発行の宿泊情報誌「ゆこゆこ」（2月号）に掲載した。

発行部数：約400,000部

b 旅行商品の造成

大人の上質な旅をテーマに、鹿児島県内における宿泊施設への滞在、食や温泉等の堪能を主とした旅行商品の造成や上記宿泊情報誌に掲載するなど、販売を行った。

予約件数：2,030件、予約人泊数：5,268人泊

(ウ) 映像媒体を活用した情報発信

a 旅行商品の造成

旅行会社（阪急交通社）と連携し、北部九州在住の方（主に30～50代）が鹿児島を訪れたいと思うような旅行商品を造成した。

送客実績：254人

b 情報番組等を活用した情報発信

1月19日（金）から1月29日（月）にかけて、KBC（九州朝日放送）の様々なテレビ・ラジオ番組において、

鹿児島県の観光情報や上記旅行商品についての情報等を発信した。特に、22日から28日にかけては、「ふるさとWish」とコラボし、「南の宝箱鹿児島Wish」と題して、集中的なプロモーションを実施した。

テレビオンエア回数：15回，ラジオオンエア回数：19回

(エ) 観光サイトを活用した情報発信

ウ 特定コンテンツを活用した情報発信

かごしま春祭大ハンヤ2023の開催を支援した。

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

これまで実施してきたマーケティング調査等の結果を参考に、ターゲット毎に効果的な媒体を活用した情報発信を行ったことにより、本県の認知度を高めることができ、実際の誘客にもつなげることができた。

(4) 2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

本県がもつ2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)を活かし、各島の自然遺産の魅力とあわせて、歴史や文化を体感できる周遊旅行商品の造成を促進することで、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客の減少が続く屋久島と奄美群島双方の誘客拡大を図り、継続的な誘客を促進する。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

世界自然遺産である屋久島、奄美大島又は徳之島を周遊する、以下の要件を満たす、旅行商品造成に要する経費を1商品80万円を上限に助成する。

実績：5商品造成，合計催行回数1回

送客実績：30人(60人泊)

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

屋久島と奄美の2つの世界自然遺産の周遊促進を目的に、各島の自然遺産の魅力とあわせて、歴史や文化を体感できる旅行商品の造成促進を図った一方で、屋久島・奄美間を直接結ぶ定期航空路・航路がないため、時間・コストがかかるといった理由等から催行回数は1回にとどまった。

(5) フィルムコミッション活動支援事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに、製作支援を実施した。

支援実績

	R3年度	R4年度	R5年度
映画	6件	11件	7件
CM	10件	6件	11件
TV番組	17件	23件	14件
TVドラマ	3件	—	—
その他	11件	14件	8件
計	47件	54件	40件

※上記表については、製作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

制作支援を行うことで、テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し、本県の更なる観光振興に繋げることができた。

(6) 修学旅行等対策事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

鹿児島県教育旅行受入対策協議会において、多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、「望ましい修学旅行地」

としての受入体制づくりを行うとともに、積極的な修学旅行誘致事業を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島県教育旅行受入対策協議会に対し、負担金を拠出した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、受入体制づくりや積極的な修学旅行誘致事業を実施できた。

(7) 教育旅行プロモーション事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

本県への教育旅行の誘致につなげるため、教育旅行用学習プログラムを紹介する動画を作成し、効果的なプロモーションに取り組む。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 動画作成

(ア) 旅行会社向けセールス用動画の作成

(イ) 学校向け事前学習用動画の作成

イ 効果的なプロモーションの実施

作成した動画を鹿児島県の観光サイト「かごしまの旅」に掲載した。また、教育旅行関係団体のサイトにも情報を掲載した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

動画を作成することで、本県が持つコンテンツや鹿児島での学習について、より具体的なイメージを持ってもらうことができ、効果的に周知することができた。

(8) わたしの鹿児島よかところ旅事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

県民による本県の魅力の再発見及び情報発信を促し、鹿児島県の魅力を県内外にPRするきっかけを作るため、鹿児島県のPRキャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」を踏まえた県民向けの情報発信を行うとともに、「宝探し」をキーワードとしたキャンペーンを実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県民等による県内周遊を促し、本県の魅力発見（再発見）や情報発信につなげるため、宝探しイベント「南の宝箱 HUNTERS～鹿児島に眠る宝を探せ！～」を実施した。

ア 期間

令和5年11月1日（水）～令和6年1月31日（水）

イ 参加人数

1,258人（県内1,075人、県外183人）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

宝探しイベントを実施することで、県民等の県内周遊を促し、本県の魅力発見や情報発信につなげることができた。

(9) 鹿児島・佐賀相互誘客事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

「鹿児島・佐賀エールプロジェクト」の一環として、旅行会社が造成する佐賀発鹿児島着旅行商品の造成・販売支援を行うことで、佐賀県民の鹿児島旅行の機会の創出及び鹿児島観光のPRを行い、両県の交流促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 交付対象者

佐賀県内に事業所を持つ旅行会社

イ 対象旅行商品

・佐賀県内を発地とする旅行で、宿泊施設、交通機関等の手配を含めた商品

- ・鹿児島県内での宿泊を伴う旅行商品
- ・令和5年4月1日(土)から令和6年1月31日(水)までの期間内において催行する旅行商品

ウ 助成額

5,000円/人・泊

エ 実績

2,380,000円(10社, 476人泊)

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

佐賀県民の鹿児島旅行の機会が創出され、両県の交流促進を図ることができた。

(10) 南九州観光振興事業(P R観光課)

<1> 施策の目的

南九州3県(鹿児島県・熊本県・宮崎県)が連携し、南九州観光情報発信や、修学旅行の誘致活動を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 国内対策事業

南九州3県周遊促進事業

南九州3県を周遊するスタンプラリーで複数県を回った方を対象に、南九州3県の特産品をプレゼントする企画を実施した。

- ・実施時期: 令和5年10月21日(土)～令和6年1月21日(日)

- ・参加者数: 328人

イ 海外対策事業

オーストラリア市場向け情報発信事業

カンタス航空のWEBメディアを活用した情報発信事業

オーストラリアから日本への直行便はコロナ禍前より増便しているものの、九州には直行便がなくプロモーションの機会が少ないことから、同市場を対象に、南九州3県の強みを活かした自然やアドベンチャーリズムに特化した情報発信を行った。

- ・掲載媒体: カンタス航空のWEBメディア「Travel Insider」

- ・公開日: 令和6年3月1日(金)～(最低1年以上掲載)

- ・掲載内容: WEB記事1本, SNS広告・メールマガジン配信

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

ア 国内対策事業

各県の観光地の情報発信を行い、南九州広域の周遊促進が図られた。

イ 海外対策事業

オーストラリア市場に向けた情報発信を実施し、南九州3県の観光情報の周知及び認知度向上が図られた。

(11) 「稼げる」観光地域づくり推進事業(P R観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成、新たなマーケティングやコンテンツの造成等に対する支援を行い、地域の多様な関係者が連携した観光地域づくりの推進体制を確立し、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりを推進する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 観光地域体制強化支援事業

地域の多様な関係者が連携し、マーケティングやデータ分析に基づき、各エリアの観光戦略に沿って観光地経営に取り組む「稼げる」観光地域づくりを推進するための組織づくりや人材育成等の支援を行った。

(ア) 観光地域づくり人材養成講座

地域の多様な関係者が連携し、マーケティングやデータ分析に基づき、各エリアの観光戦略に沿って観光地経営に取り組む「稼げる」観光地域づくりを推進するための組織づくりや人材育成等の支援を行った。

- a 時期：令和5年5月～令和6年2月（全7回）
- b 参加者：延べ89人

(イ) 鹿児島県観光振興セミナー

本県の観光振興体制のあり方について、観光関係者をはじめ幅広い方々と考える観光振興セミナーを開催した。

- a 日程：令和5年10月20日（金）
- b 場所：鹿児島サンロイヤルホテル（オンラインとのハイブリッド開催）
- c 参加者：93人（うちオンライン44人）

(ウ) 各地域への専門家派遣等の自立化支援

県内の観光地域づくり団体に対し、課題解決に向けた支援を行うため、専門家を派遣し、助言・指導を実施した。

- a 時期：令和5年6月～令和6年3月
- b 実績：(株)薩摩川内市観光物産協会，(一社)出水市観光特産品協会，(一社)南さつま市観光協会，
(一社)いぶすき観光デザイン，(一社)南大隅町観光協会，東串良町（地域おこし協力隊），
(一社)徳之島観光連盟，(一社)おきのえらぶ島観光協会

(エ) 観光プラン造成セミナー&ワークショップ

通訳ガイド、アクティビティ事業者等の観光事業者を対象に、着地型観光プランを造成するセミナーを開催した。

- a 時期：令和5年12月～令和6年2月（全3回+フォローアップ実施）
- b 参加者：延べ141人

イ 観光地域高付加価値化促進支援事業

地域の多様な関係者が連携し、観光地域の高付加価値化に取り組む団体等に対し、その取組の支援を行った。

(ア) 対象となる事業

地域資源を最大限に活用し観光地としての魅力を高め、稼ぐ仕組みづくりの構築に資する事業（ハード整備事業を除く）

(イ) 対象者

観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に採択された観光地域であり、当該地域の市町村又は当該地域の観光地域づくりに参画する観光団体等

(ウ) 補助率・上限額

対象経費の1/2・最大4,000千円

(エ) 募集期間

令和5年8月25日（金）～9月22日（金）

(オ) 補助件数 3件

(カ) 補助対象者及び事業内容

- a Reデザインきりしま（霧島市）
霧島市内宿泊施設等での霧島食材フェアの開催，新たな体験プログラムの開発など
- b (一社)出水市観光特産品協会
武家屋敷群等での芸術祭の開催，武家屋敷ディナーイベントの開催など
- c 出水市
ツル観光タクシーの運行，新たな体験型観光商品の開発など

<3> 施策の実施による成果（アウカム）

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成等を実施した結果、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりの体制づくりが推進された。

(12) サイクルツーリズム推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県での自転車を活用した周遊観光の推進による交流人口の拡大を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県サイクルツーリズム推進協議会等の開催

(ア) 県サイクルツーリズム推進協議会の開催

a 日 程：令和5年5月24日（水）

令和6年2月15日（木）

b 内 容：モデルルートの承認，走行環境整備方針について など

(イ) 県サイクルツーリズム推進協議会地域部会の開催

a 実 績：南薩地域部会・・・2回，北薩摩地域部会・・・4回，霧島・始良地域部会・・・2回

大隅地域部会・・・2回，熊毛地域部会・・・4回

b 内 容：受入環境整備について など

イ モニターツアーの実施

サイクリスト等にモデルルートを実走してもらい，その様子をSNSや県観光サイトで情報発信した。

(ア) 時 期：令和5年9月12日（火）～10月6日（金）

(イ) 参加者：3人

(ウ) 対象ルート：川内川流域，南薩，霧島・始良，大隅の各ルート

(エ) 媒体名：クリスティーナ氏（東京都在住のインフルエンサー）のInstagram（フォロワー数：約207,000人）

ウ サイクルナビゲーター養成講座の開催

観光するサイクリストに本県の魅力をより体験してもらうため，必要な知識の習得を目的としたガイドの養成講座を開催した。

(ア) 開催時期：令和5年11月13日（月）～令和6年2月7日（水）

(イ) 内 容：ガイド概論，安全講習（交通法規等）等の座学講習及びメンテナンスやガイドの実技講習

(ウ) 講 師：小口良平氏（合同会社トビチカンパニー「grav bicycle」共同代表）

(エ) 参 加 者：霧島エリア 8人，奄美エリア 8人

エ サイクルステーション等整備支援事業

本県のサイクルツーリズムを推進するため，自転車による観光客の利便性向上を目的に，サイクルスタンド等の整備を実施する事業者等に対し，補助を行った。

(ア) 対象事業者：県内の市町村，観光協会，観光地域づくり団体，観光関連事業者，宿泊事業者，民泊事業者

(イ) 補助率・上限額

① サイクルステーション整備事業：1/2以内 18千円以内

② サイクリストに優しい宿整備事業：1/2以内 50千円以内

(ウ) 補助件数

3件（146千円）（内訳：①1件，②2件）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

地域部会の開催等により県内の関係者間のネットワーク構築や，モデルルートの策定などによりサイクルツーリズム推進に向けた機運の醸成が図られた。

(13) 磯新駅設置支援事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産が存する磯地区に新駅を設置することにより，県全体の観光の振興を図るため，関係団体及び鹿児島市等と連携し，新駅設置に向けた支援を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

磯新駅設置協議会に対し，負担金を拠出した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

磯新駅の設置に向け、関係団体における各種調整が図られた。

② 外国人観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
観 光 費	207,200	117,684	2,556	86,960	200,621	112,457	3,418	84,746
内								
海外誘客ステップアップ事業	95,311	28,694	2,556	64,061	94,228	28,694	3,418	62,116
国際クルーズ船誘致促進事業	20,149	—	—	20,149	19,880	—	—	19,880
インバウンド誘客早期回復事業	41,240	41,240	—	—	41,238	41,238	—	—
ベトナム誘客特別プロモーション事業	5,500	2,750	—	2,750	5,500	2,750	—	2,750
訳 奄美大島インバウンド誘致事業	45,000	45,000	—	—	39,775	39,775	—	—
計	207,200	117,684	2,556	86,960	200,621	112,457	3,418	84,746

(1) 海外誘客ステップアップ事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、海外でのセールスやプロモーション・メディアや旅行会社の招請等を行い、本県への外国人観光客の誘客促進や観光消費額の向上を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行便市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

海外における本県の認知度向上を図るため、台湾・韓国の市場に「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
香 港	Facebook, Instagram	548回
台 湾	Facebook, Instagram	196回
韓 国	Facebook, NAVER Blog	470回
中 国	Wechat, Weibo	205回

b 旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容	備考
台 湾	令和5年6月12日～13日	訪日教育旅行個別相談会に参加	商談数24校

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和5年6月28日～7月3日	香港の有力メディア関係者の招請及び現地テレビやYouTubeによる情報発信	招請人数8人
台 湾	令和5年9月12日	台湾の有力メディア関係者・インフルエンサーを招請し、現地旅行誌やSNS等により観光情報を発信	招請人数12人
韓 国	令和5年5月28日～31日	韓国の有力メディア関係者を招請し、現地テレビ番組により観光情報を発信	招請人数5人
中 国	令和5年12月1日～令和6年3月15日	県上海事務所と連携し、日本への観光個人ビザを取得した個人旅行者に対して、本県の観光情報をPRするフライヤーを配布	配布部数5万部

(イ) 旅行会社等プロモーション

直行便市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
香 港	令和5年6月8日～10日	2社	2人（観光連盟）
	令和5年9月12日～14日	4社	4人（観光連盟含む）
韓 国	令和5年11月5日～8日	6社	3人（観光連盟）
	令和6年3月12日～14日	5社	1人（観光連盟）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
香 港	令和5年5月8日～10日	旅行会社	鹿児島市、霧島市、垂水市
	令和5年9月20日～22日		鹿児島市、霧島市、南さつま市
	令和6年2月27日～28日		鹿児島市、南九州市
	令和6年3月29日～31日		霧島市
台 湾	令和5年6月23日～27日	旅行会社	鹿児島市、霧島市、指宿市
	令和5年7月25日～29日	現地OTA	鹿児島市、霧島市、指宿市
	令和5年10月31日～11月2日		鹿児島市、霧島市、さつま町
韓 国	令和5年5月14日～16日	現地OTA	鹿児島市、枕崎市、指宿市
	令和5年6月26日～29日		鹿児島市、枕崎市、指宿市、霧島市
	令和5年9月10日～17日	ゴルフ会社	指宿市、南九州市、鹿児島市、霧島市、日置市
	令和5年7月14日～18日	ゴルフ用品企業関係者	鹿児島市、霧島市、薩摩川内市、さつま町
	令和5年10月27日～30日 令和5年11月15日～19日		鹿児島市、始良市、さつま町 鹿児島市、霧島市、日置市、始良市
中 国	令和6年1月15日～17日	旅行会社	鹿児島市、霧島市、湧水町

c B t o B, B t o C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
台 湾	令和5年6月26日	現地旅行会社等招請のタイミングで、県内の観光関係事業者と商談会を実施	台湾側：8人 本県側：51社75人
	令和5年11月1日～4日	日本観光振興協会主催のITF商談会に参加	参加社数100社
	令和5年12月18日～21日	台湾OTA協会会員を対象とした観光セミナーを開催	参加社数10社
韓 国	令和5年11月7日	JNTO主催の商談会に参加	商談社数14社

イ 戦略的市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場における本県の認知度向上を図るため、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B t o Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
タイ	Facebook	48回

ベトナム	Facebook	92回
シンガポール 欧米豪	Facebook	55回

b 旅行博覧会等への出展

本県ブースを出展し、プロモーションを行った。

対象国	実施日	旅行博覧会名	来場者数
タイ	令和5年8月28日～9月3日	バンコク日本博2023	約12.9万人
	令和5年10月6日～8日	訪日旅行FITフェア	約4.6万人
	令和6年1月22日～31日	旅行博覧会（TITF）	約27.5万人
シンガポール	令和5年8月11日～13日	シンガポールの旅行博「NATAS」	約10.2万人

c B t o B, B t o C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加人数
タイ	令和5年11月15日～18日	在京タイ人インフルエンサーを招請し、公式Facebook掲載用の写真や動画のコンテンツの取材及び情報発信を実施	1人
	令和6年1月	旅行社Quality Expressの旅行冊子への広告露出	—
シンガポール	令和5年7月19日～23日	旅行者Follow Me Japan主催の鹿児島県旅行商品説明会を開催	43人
欧米豪	令和5年8月3日～4日	豪州水泳メダリストを招請し、自身のSNS等で情報を発信	2人
	令和5年9月20日～23日	アドベンチャーツーリズム関係者やメディアを招請し、屋久島を中心に取材・情報発信	3人
	令和5年10月25日～30日	世界的なニュース番組CNNの日本向けブランド（CNNj）におけるCM放送による情報発信	—
	令和5年11月1日～12日	アラブ首長国連邦・シャルジャブックフェアに出展し、本県観光情報を発信	—
	令和6年2月12日～16日	オーストラリアのメディアを招請し、世界自然遺産の奄美大島を取材・情報発信	2人

(イ) 旅行会社等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
ベトナム	令和5年7月9日～14日	6社	5人（観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
タイ	令和5年6月19日～23日	旅行社Quality Express及びエイチ・アイ・エス	鹿児島市、霧島市、指宿市、いちき串木野市
	令和5年7月4日～12日	H. I. S Tours	鹿児島市、奄美市、西之表市、南種子町、屋久島町
シンガポール	令和5年6月6日～10日	旅行会社Follow Me Japan	鹿児島市、霧島市、伊佐市、湧水町

欧米豪	令和5年10月10日 令和5年10月29日～ 11月4日	LTA社（カナダ） DESTINATION JAPON（フランス）	鹿児島市，南さつま市 奄美市
-----	------------------------------------	--------------------------------------	-------------------

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加社数
タイ	令和5年10月4日	九州観光機構主催「タイ旅行会社・メディア向け九州観光セミナー&商談会」に参加	セミナー50 団体 商談会39団体
ベトナム	令和5年5月22日～28日	ベトナムにおける鹿児島県観光セミナーの開催	18社
	令和5年8月21日～25日	ベトナムでの九州観光セミナー・個別商談会への参加	10社

ウ インバウンド需要回復に向けた情報発信

(7) 多言語観光サイトによる情報発信強化

a 海外ウェブサイト等との連携

誘客力の高い外部の海外ウェブサイト等と連携し，本県サイトだけでは提供できない情報の充実化を図った。

b コンテンツ充実のための取材・撮影

取材・撮影を通して，定期的に情報の更新を行うSEO対策を実施した。

c コンテンツ充実のための翻訳

日常的に発生する情報の更新に係る翻訳を行い，最新の情報を掲載した。

言語数：5言語（英語，韓国語，簡体字，繁体字，ベトナム語）

d 観光サイトの保守管理及び改修

各言語における特集ページの新設，観光情報の追加等を行った。

<3> 施策の実施による成果（アツカム）

香港・台湾・韓国・中国・タイ・ベトナム・シンガポール・欧米豪を中心に，国や九州観光機構等と連携しながら，海外現地でのプロモーションを実施した他，現地メディア及び旅行会社と連携した各種事業を実施し，本県への誘客促進が図られた。

また，多言語観光サイトの情報発信強化によって同サイトへのアクセス数が増加した。

多言語観光サイトへのアクセス数

R3年度	R4年度	R5年度
142,599	457,759	1,027,527

(2) 国際クルーズ船誘致促進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため，本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

<2> 施策の実施状況（アツプット）

ア 現地セールス活動

本県へのクルーズ船誘致促進のため，クルーズ船社や旅行会社等へのセールス活動等を行った。

実施日	相手方
令和5年4月24日～26日	船社，旅行会社
令和5年6月8日	船社
令和5年8月4日	旅行会社

令和5年8月8日	船社
令和5年8月25日	旅行会社
令和5年11月29日～12月1日	船社, 旅行会社
令和5年12月6日	〃

イ 船社等視察受入

実施日	訪問先
令和5年7月27日～29日	霧島市
令和5年8月2日～3日	鹿児島市, 霧島市
令和5年9月11日	鹿児島市
令和5年11月2日～5日	日置市, 霧島市
令和5年11月24日～25日	鹿児島市, 霧島市
令和6年1月21日～22日	鹿児島市, 霧島市
令和6年2月17日～21日	鹿児島市, 種子島, 屋久島

ウ クルーズ船社等イベントへの参加

実施日	開催地	主な活動内容
令和5年6月10日～11日	東京都	国内連携港と合同でブースを出展し, 船社及び一般向けに鹿児島の魅力をPR
令和5年9月6日～8日	ドイツ	国内連携港と合同でブースを出展し, 船社に鹿児島のPRと各連携港を周遊するクルーズ造成を提案
令和5年9月25日	東京都	旅行会社の顧客を対象に, 寄港地観光の魅力をPR
令和5年10月15日	東京都	一般向けに九州及び鹿児島の魅力をPR
令和5年12月19日～20日	沖縄県	国際クルーズ本格再開等に向けた基調講演, パネルディスカッション及び商談会に参加
令和6年1月15日	東京都	船社向けに国内連携港の取組を紹介
令和6年1月25日～27日	鹿児島市	旅行会社主催の寄港地ガイド研修に参加
令和6年2月22日	八代市	八代港関係者向けに本県クルーズの取組を紹介

エ ドルフィンポート跡地管理

シャトルバス停留所となっているドルフィンポート跡地の草刈り（夏，冬）及び台風6号支障木撤去・枝葉等回収を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により，長期間国際クルーズ船の寄港がなかったが，令和5年3月の国際クルーズ船受入再開以降，多くの寄港があり，受入再開後の寄港数の増加・定着化に向けて，セールスや情報発信により本県の認知度維持・向上が図られた。

県内各港クルーズ船入港実績

（単位：回）

港名	R3年	R4年	R5年
鹿児島	2	3	82
志布志	—	1	—
里	—	—	1
中甕	—	—	2
蘭傘田	—	—	1
西之表	—	—	1
宮之浦	1	18	13
名瀬	—	9	17
古仁屋	—	—	1

湾	—	—	3
平 土 野	—	—	1
和 泊	—	—	—
伊 延	—	—	2
与 論	—	—	1
計	3	31	125

(3) インバウンド誘客早期回復事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

交通キャリアや世界市場に影響力を持つIT企業とのプロモーション、本県を訪問する観光目的の創出等を通じて、本県への旅行動機を醸成し、新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けている本県のインバウンド早期回復に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 鹿児島への移手段の創出

鹿児島空港国際線再開までの間、羽田空港などの拠点空港へ入国した外国人観光客を本県へ誘致するため、交通キャリア等と連携したプロモーションなどを実施した。

(ア) 国内航空会社と連携したプロモーション

	実施日	主な内容	備考
ANA	令和5年12月6日～令和6年3月31日	外国人観光客向けプロモーションWEBサイトで本県特集ページの広告配信を実施	PV数：113,483件
JAL	令和6年2月26日～3月31日	外国人観光客向けプロモーションWEBサイトに着地型旅行商品化が見込める観光コンテンツに特化したページを新規作成	PV数：162件

(イ) 海外航空会社の招請

キャセイパシフィック航空日本支社を招請し、県内観光地の視察を実施するとともに、香港路線の早期回復を推進するための意見交換を実施した。

(ウ) チャーター便への支援

チャーター便（大韓航空、チャイナエアライン）運航に合わせて、チャーター便を利用した旅行商品造成への支援を実施した。

イ 鹿児島を訪問する目的の創出

アフターコロナにおいて本県を訪問する核となる目的の創出のため、伊佐市・湧水町エリアにおいて、NPO法人ホーストラストを中心として開発した新たな滞在型観光コンテンツの旅行商品化等を実施した。

ウ 情報発信の強化

世界市場に影響力を持つIT企業等と連携したプロモーション

本県の認知度向上及び旅行動機醸成を図るため、Googleと連携した効果的なプロモーションを実施した他、今後のデジタルマーケティング推進に向けた取組を実施した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

鹿児島空港国際線を使った外国人観光客の誘致が難しい中、交通キャリア等を連携したプロモーションや新たな滞在型観光コンテンツの旅行商品化等を実施した結果、本県への効果的な誘客促進が図られた。

(4) ベトナム誘客特別プロモーション事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

ベトナム航空チャーター便に合わせ、インバウンドに対する支援を実施し、旅行商品の販売促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 招請

実施日	被招請者	視察地
令和5年6月1日	ベトナム航空、株式会社エイチ・アイ・エス	鹿児島空港国際線ターミナル及びビジネスジェット専用ターミナル
令和5年11月20日～24日	H. I. S. SONG HAN VN TOURIST	鹿児島市、霧島市、指宿市、伊佐市、薩摩川内市
令和6年1月18日～20日	ベトナム航空、株式会社エイチ・アイ・エス	鹿児島市、霧島市、南九州市
令和6年3月26日～31日	H. I. S. SONG HAN VN TOURIST	鹿児島市、霧島市、指宿市、屋久島町

イ 現地セールス

実施日	主な内容	派遣者数
令和5年10月13日～19日	鹿児島ーハノイチャーターに向けた現地旅行会社向けセミナーを実施	2人（観光連盟）
令和5年12月3日～9日	鹿児島ーハノイチャーターに向けた現地旅行会社向けBtoBセミナーを実施	4人（観光連盟含む）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和6年3月27日（水）に鹿児島ーハノイ2Wayチャーター便を運航。

販売状況

- ・鹿児島⇒ハノイ：145／155席
- ・ハノイ⇒鹿児島：151／155席

(5) 奄美大島インバウンド誘致事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

大島紬や黒糖焼酎といった奄美ならではの文化や自然等の魅力を体験できるコンテンツ造成から商品販売に取り組み、さらなるインバウンドの誘致を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア ワークショップ等の開催

(ア) 商品造成に向けた意見交換や有識者の講演等を開催

第1回ワークショップ 日程：令和5年10月16日（月）～18日（水） 参加人数：20人（奄美の観光関連事業者等）

第2回ワークショップ 日程：令和5年11月12日（日）～13日（月） 参加人数：12人（奄美の観光関連事業者等）

(イ) 海外の専門家を招請し、アドベンチャーツーリズムに関する実地研修を開催

日程：令和5年11月7日（火）～10日（金） 参加人数：12人

(ウ) 事業の成果や今後の取組の方向性等の確認等を行うため、商品検証ワークショップを開催

・奄美会場 日程：令和6年1月17日（水） 参加人数：33人（奄美の観光関連事業者等）

・鹿児島会場 日程：令和6年1月19日（金） 参加人数：25人（奄美・鹿児島の観光関連事業者等）

イ プロモーション映像の制作

奄美大島の全体動画と奄美大島北部・中部・南部の短編動画を制作し、奄美大島及び造成した商品のプロモーションを実施した（令和6年1月9日（火）公開）。

ウ 各種ホームページ等での商品販売告知の実施

媒体	公開日・内容
東武トップツアーズホームページ	令和5年11月20日（7泊8日の商品掲載） 令和5年12月28日（2泊3日の商品掲載）
鹿児島県観光連盟ホームページ	令和5年12月4日（7泊8日の商品掲載）

鹿児島県観光連盟Facebook	令和5年12月14日（7泊8日の商品掲載）
北海道宝島旅行社ホームページ	令和5年12月2日（11日間のツアーとして紹介）
Link Adventures ホームページ	令和5年12月6日（7泊8日の商品掲載）
ATTA ホームページ	令和5年12月8日（7泊8日の商品掲載）
日本エアコンピューターホームページ	令和5年12月8日（7泊8日の商品掲載）
日本エアコンピューターInstagram	令和5年12月11日（7泊8日の商品掲載）
ジャパントラベルホームページ	令和6年1月9日（7泊8日の商品掲載）
ジャパントラベル各種SNS	令和6年1月9日（7泊8日の商品掲載）

エ 羽田空港での効果測定調査の実施

羽田空港において、外国人向けに造成した商品に関するアンケート調査を実施

調査期間：令和5年12月～令和6年1月のうち10日間 回答数：205件

<3> 施策の実施による効果（アウトプット）

商品造成に向けたワークショップや実地研修を通じ、奄美大島の観光関連事業者の知識向上につながったとともに、観光関連事業者同士の連携が深まるきっかけとなり、奄美大島全体として観光客誘致に取り組むことができた。

③ スポーツキャンプ等の誘致

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	117,499	—	93,000	24,499	114,524	—	92,700	21,824
内 訳								
スポーツ観光王国かごしま確立事業	16,355	—	—	16,355	14,132	—	—	14,132
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	97,644	—	90,000	7,644	97,642	—	90,000	7,642
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅バリアフリー化推進事業	3,500	—	3,000	500	2,750	—	2,700	50
計	117,499	—	93,000	24,499	114,524	—	92,700	21,824

(1) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致及び参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(ア)アット)

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	主 な 内 容	参加者数
第1回	令和5年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について 市町村の合宿誘致意向調査結果 スポーツ合宿実施団体が受入側に求める食事対応等 県内競技団体が実施予定のスポーツ大会 	46人
第2回	令和5年9月22日	<ul style="list-style-type: none"> 新たなホームページ等の機能紹介等と活用について 	41人

イ スポーツ合宿等の誘致・受入強化

(ア) かごしまスポーツ合宿セミナーの実施

スポーツキャンプ・合宿の実施数が回復していない関西地域の実業団や大学部活動の代表者等と福岡地域の旅行者を対象とし、スポーツキャンプ・合宿の誘致セミナーを関西地区と福岡地区で2回開催した。

(イ) スポーツ合宿等誘致・受入に係る新たなホームページの作成

スポーツ合宿に係る公式HP及び公式LINEアカウントを作成し、より効果的かつ円滑なスポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入体制づくりを推進した。

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
プロスポーツチーム等受入団体数	22団体	13団体	22団体	25団体	32団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル内(1階到着ロビー横)	令和6年1月19日～2月26日

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプ電子ガイドブック2024紹介カード」による周知

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル、鹿児島中央駅、県内ホテル等	令和6年1月19日～2月26日

(ウ) 課公式インスタグラム「すぼかご」を活用した「かごしま春季キャンプ応援キャンペーン」等の実施

実施期間	応募者数
令和6年1月20日～2月23日	328件

〈3〉 施策の成果(アウトカム)

県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより、交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。

県外からのスポーツキャンプや合宿の受入については、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会が開催されたこともあり、受入人数は過去最高の数字となり、南部九州総体が開催されたこれまで過去最高の令和元年度(約16万人)を大きく上回る結果となった。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ人数(人)	160,572	45,945	62,692	115,952	246,695
対前年度比増減(%)	5.3	△71.4	36.5	85.0	112.8
対前年度増減数(人)	8,036	△114,627	16,747	53,260	130,743
実人数(人)	37,047	7,257	12,245	21,341	72,807
団体数	2,168	383	574	860	1,436

(2) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業(スポーツ振興課)

〈1〉 施策の目的

本施設を核とした、スポーツ合宿等の実施により、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図るため、トップアスリート等の合宿誘致・受入及び施設維持管理等に関する業務の委託を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

平成31年4月1日より供用が開始された「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」において、スポーツ合宿等を実施し、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図った。

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営の委託(指定管理)

- (ア) 施設の維持管理に関する業務
- (イ) 施設を利用した合宿の誘致及びその受入れ並びにスポーツ事業の企画及び実施に関する業務
- (ウ) 施設利用の許可に関する業務
- (エ) 施設の利用に係る料金に関する業務 等

イ 令和5年度管理業務の実施状況

- (ア) 利用者数 50,105人
- (イ) 指定管理者 ニチガスクリエート・ミズノ共同事業体

ウ 関係機関との連絡調整

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会

実施日：令和5年11月29日

内容：令和5年度(4月～8月)の利用実績の報告、令和5年度合宿利用者アンケート調査結果の報告及び意見交換

〈3〉 施策の成果(アウトカム)

ア 主な成果

施設利用者については、年間50,105人(令和元年度比21.2%増)と、令和4年度の実績(年間38,710人、令和元年度比6.4%減)から大きく増加した。

イ 令和5年度の主な利用者

令和5年度は、日本記録保持者、日本選手権3位以内、直近2大会オリンピックパラリンピック世界大会の日本代表など以下の選手をはじめとするトップアスリートが47人利用した。

- 飯塚 翔太 選手(東京オリンピック200m日本代表)
- 桐生 祥秀 選手(東京オリンピック4×100mリレー日本代表)
- 山縣 亮太 選手(東京オリンピック100m、4×100mリレー日本代表)

兒玉 芽生 選手（東京オリンピック 4×100mリレー日本代表）

山本 篤 選手（東京パラリンピック 走り幅跳び4位）

(3) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅バリアフリー化推進事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

日本最高水準の陸上競技のトレーニングに特化した施設として、障害の有無に関わらず、より多くのアスリートが利用できるよう、更なるバリアフリー化を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

障害者等の施設利用における利便性及び安全性の向上のため、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の床シート張替等の工事を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

日本最高水準の陸上競技のトレーニングに特化した施設として、より一層の受入体制の強化が図られた。

(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進

① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	19,680	8,129	—	11,551	17,550	6,361	—	11,189
内 訳 外国人観光客受入体制 整備事業	19,680	8,129	—	11,551	17,550	6,361	—	11,189
計	19,680	8,129	—	11,551	17,550	6,361	—	11,189

(1) 外国人観光客受入体制整備事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が快適に周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光振興機構の「JNTO認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・ JNTO認定外国人案内所：25か所（R6.3末時点）

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・ 実施日：令和5年6月17日（土）
- ・ 参加者：13人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・ 実施日：令和5年5月～7月（座学4回、実務1回、フォローアップ講習1回）
- ・ 参加者：延べ66人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会の開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図るため、観光業従事者に対し、災害時のリスクマネジメントやICT技術の活用等の講習会を実施した。

- ・ 実施日：令和5年11月8日（水）
- ・ 参加者：82人（一部オンライン）

オ フードダイバーシティセミナーの実施

ムスリムやベジタリアンなど多様な文化、習慣を持つ外国人旅行者が安心して「食」を楽しむとともに、快適に滞在できる受入環境の整備を推進するためにセミナーを実施した。

- ・ 実施日：①令和6年2月20日（火）、②令和6年3月6日（水）
- ・ 参加者：①52人（一部オンライン）、②40人（一部オンライン）

カ 多言語コールセンターの運営

本県を訪れた外国人観光客が快適に周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・ 開設日：平成30年7月27日
- ・ 対象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店、医療機関、警察及び外国人観光客

- ・利用件数：毎月平均26件（令和5年度）

キ 観光多言語パンフレットの作成

本県への外国人観光客誘致を図るため、外国語パンフレットを作成

- ・英語
- ・韓国語
- ・中国語（繁体字）
- ・中国語（簡体字）
- ・タイ語

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成，講習会の開催などにより，受入体制の整備向上が図られた。

16 新型コロナウイルス感染症に係る対策

(1) 感染症拡大防止対策と医療体制整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,000	1,000	—	—	999	999	—	—
内 宿 泊 施 設 の 感 染 防 止 対 策 認 証 制 度 事 業	1,000	1,000	—	—	999	999	—	—
計	1,000	1,000	—	—	999	999	—	—

(1) 宿泊施設の感染防止対策認証制度事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

「宿泊施設の感染防止対策認証制度」について、引き続き適切な運用を確保するとともに、廃止時には、宿泊施設事業者が円滑に対応できるよう、必要な支援体制を整える。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 期間

令和5年4月3日（月）～5月31日（水）

イ 業務内容

(ア) 問合せ対応

(イ) 制度の運用に係る周知

(ウ) 認証制度の運用

(エ) 事業者等への指導・助言

(オ) 事業管理

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

認証制度の周知や宿泊事業者等への適切な指導・助言等による支援を行うことで、感染防止対策への意識を向上させることができ、また、制度廃止後も円滑に事業者が対応することができた。

(2) 経済活動の回復

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	6,408	6,408	—	—	6,381	6,381	—	—
内 訳								
奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（再掲）	6,408	6,408	—	—	6,381	6,381	—	—
観 光 費	5,202,601	4,738,545	464,056	—	4,934,385	4,671,736	262,649	—
内 訳								
鹿児島県地域観光支援事業	5,161,361	4,697,305	464,056	—	4,893,147	4,630,498	262,649	—
インバウンド誘客早期回復事業（再掲）	41,240	41,240	—	—	41,238	41,238	—	—
計	5,209,009	4,744,953	464,056	—	4,940,766	4,678,117	262,649	—

(1) 奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（文化振興課）（再掲）

4（2）①(4)において前述

(2) 鹿児島県地域観光支援事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

国の地域観光事業支援を活用して、全国の方々を対象に本県内の旅行商品の割引や商品クーポンの付与などの需要喚起策を講じ、本県観光関連産業の早期回復を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 「今こそ鹿児島の旅（第4弾）」

(ア) 割引期間

＜個人旅行＞

令和5年1月10日（火）～7月21日（金）

令和5年11月1日（水）～11月30日（木）

＜団体旅行＞

令和5年1月10日（火）～9月30日（土）

令和5年11月1日（水）～11月30日（木）

※令和5年4月28日（金）～5月7日（日）を除く

(イ) 割引率：最大20%

(ウ) 割引上限額

＜宿泊旅行＞

交通付：5,000円（離島8,000円）／人泊

上記以外：3,000円（離島5,000円）／人泊

＜日帰り旅行＞ 3,000円／人回

(エ) 商品クーポン（上記割引とセット）

休日：1,000円

平日：2,000円（3,000円※）

※平日の宿泊旅行（交通付）で第三者認証宿泊施設を利用した場合（ただし、令和5年5月8日（月）以降予約受付分から適用しない。）

(オ) 利用実績

a 旅行商品割引 2,933,558,498円

宿 泊：1,047,739人泊

日帰り：20,284人

b 商品クーポン 2,044,177,617円

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

コロナ禍により旅行需要が急激に減少する中、旅行費用に対する割引助成を行うことにより一定の観光需要を創出することができた。

(3) インバウンド誘客早期回復事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉（再掲）

11(3)②の(3)において前述

17 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(1) 原油価格高騰対策

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	60,007	55,059	4,948	—	46,971	42,023	4,948	—
内 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業 訳	60,007	55,059	4,948	—	46,971	42,023	4,948	—
計	60,007	55,059	4,948	—	46,971	42,023	4,948	—

(1) 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

燃料油価格高騰により厳しい経営環境にある貸切バス事業者に対し、燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

- ・ 申請数：193事業所
- ・ 補助数：193事業所
- ・ 助成金額：32,104,100円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

貸切バス事業者に対し燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援することができた。

(2) コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	1,915	1,532	—	383	—	—	—	
内訳事業	1,915	1,532	—	383	—	—	—	
計	1,915	1,532	—	383	—	—	—	

(1) ウクライナ避難者支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

ウクライナから本県に避難してきた避難者に対し、市町村等と連携を図りながら、住居が決まるまでの一時滞在先の提供、ウクライナ語に対応した翻訳機の支給及び「鹿児島県ウクライナ避難民支援義援金配分委員会」による義援金の配分などの必要な支援を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 一時滞在先の提供及び翻訳機の支給

令和5年度は新たな避難者の受入がなかったため、一時滞在先の提供及び翻訳機の支給を必要とする避難者はいなかった。

イ 義援金の受入・配分

令和5年12月19日に第5回ウクライナ避難民支援義援金配分委員会を開催し、避難者一人あたり5万7千円ずつの義援金の配分を決定し、配分した。

受入	(a)	4,677,361円	R4.6.5受入開始 67件
配分（令和4年8月）	(b)	901,430円	50,000円×18人分
配分（令和4年10月）	(c)	903,630円	50,000円×18人分
配分（令和4年12月）	(d)	1,004,180円	50,000円×20人分
配分（令和5年2月）	(e)	705,940円	35,000円×20人分
配分（令和5年12月）	(f)	1,148,250円	57,000円×20人分
残高	(a-b-c-d-e-f)	13,931円	

※受入には預金利息を、配分には振込手数料を含む。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ウクライナから本県へ避難してきた避難者に対し県民から寄せられた義援金を配分することで、本県で安心して生活できるよう支援することができた。